

認定区域整備計画の変更内容（要求基準）

下線は修正箇所

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）																																		
1	要求基準 1	<p>① I R事業の工程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I R事業の工程は、下表のとおり想定している。 ・ 大阪府・市及び I R事業者は、世界最高水準の I R及び早期開業による速やかな事業効果の発現が実現できるよう、2029年秋～冬頃の早期開業をめざし公民連携して取り組む。 <p style="text-align: center;">【図表 1：I R事業の工程（想定）】</p> <table border="1" data-bbox="679 583 1635 894"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>区域整備計画上の事業年度</th> <th>工程（想定）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年秋頃～</td> <td>1年目</td> <td>区域整備計画の認定^{※1} 行政手続き・調査・準備工事の着手^{※2}</td> </tr> <tr> <td>2023年春～夏頃</td> <td>2年目</td> <td>工事の発注及び着手^{※3}</td> </tr> <tr> <td>2029年夏～秋頃 2029年秋～冬頃</td> <td>7～8年目</td> <td>工事の完了^{※3} I R施設の開業^{※3}</td> </tr> <tr> <td>～2032年秋頃</td> <td>10年目</td> <td>設置運営事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 国土交通大臣による区域整備計画の認定の時期は推測（区域整備計画の認定の時期によって、I R事業にかかる他の工程は変動する。）</p> <p>※2 区域整備計画の認定後の実施工程のみを示す。</p> <p>※3 工程が最も早く進捗した場合の想定。なお、新型コロナウイルス感染症の収束状況、I R事業の税制上の取扱い及びカジノ管理規制の整備状況、夢洲特有の地盤性状への対応状況、工事環境等によっては、I R事業の工程は1～3年程度後ろ倒しとなる可能性がある。</p>	時期	区域整備計画上の事業年度	工程（想定）	2022年秋頃～	1年目	区域整備計画の認定 ^{※1} 行政手続き・調査・準備工事の着手 ^{※2}	2023年春～夏頃	2年目	工事の発注及び着手 ^{※3}	2029年夏～秋頃 2029年秋～冬頃	7～8年目	工事の完了 ^{※3} I R施設の開業 ^{※3}	～2032年秋頃	10年目	設置運営事業の実施	<p>① I R事業の工程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I R事業の工程は、下表のとおり想定している。 ・ 大阪府・市及び I R事業者は、世界最高水準の I R及び早期開業による速やかな事業効果の発現が実現できるよう、<u>2030年秋頃</u>の早期開業をめざし公民連携して取り組む。 <p style="text-align: center;">【図表 1：I R事業の工程（想定）】</p> <table border="1" data-bbox="1730 583 2703 1050"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>区域整備計画上の事業年度</th> <th>工程（想定）^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>2023年4月</u> <u>2023年春頃～</u> <u>2023年夏頃</u></td> <td rowspan="3">1年目</td> <td>区域整備計画の認定 行政手続き・調査^{※2} <u>実施協定の締結認可^{※3}</u></td> </tr> <tr> <td><u>2023年秋頃</u></td> <td><u>実施協定・事業用定期借地権設定契約等の締結^{※3}</u> <u>液状化対策工事の着手</u></td> </tr> <tr> <td><u>2024年夏頃</u></td> <td><u>I R準備工事の発注及び着手</u></td> </tr> <tr> <td><u>2025年春頃</u></td> <td><u>3年目</u></td> <td><u>I R建設工事の発注及び着手</u></td> </tr> <tr> <td><u>2030年夏頃</u> <u>2030年秋頃</u></td> <td>8年目</td> <td>工事の完了 I R施設の開業^{※3}</td> </tr> <tr> <td>～2033年4月</td> <td>10年目</td> <td>設置運営事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 工程が最も早く進捗した場合の想定。なお、新型コロナウイルス感染症の収束状況、I R事業の税制上の取扱い及びカジノ管理規制の整備状況、夢洲特有の地盤性状への対応状況、工事環境等によっては、I R事業の工程は1～<u>2</u>年程度後ろ倒しとなる可能性がある。</p> <p>※2 区域整備計画の認定後の実施工程のみを示す。</p> <p>※3 国土交通大臣による<u>実施協定の締結認可</u>の時期は推測（<u>実施協定の締結認可</u>の時期によって、I R事業にかかる他の工程は変動する。）</p>	時期	区域整備計画上の事業年度	工程（想定） ^{※1}	<u>2023年4月</u> <u>2023年春頃～</u> <u>2023年夏頃</u>	1年目	区域整備計画の認定 行政手続き・調査 ^{※2} <u>実施協定の締結認可^{※3}</u>	<u>2023年秋頃</u>	<u>実施協定・事業用定期借地権設定契約等の締結^{※3}</u> <u>液状化対策工事の着手</u>	<u>2024年夏頃</u>	<u>I R準備工事の発注及び着手</u>	<u>2025年春頃</u>	<u>3年目</u>	<u>I R建設工事の発注及び着手</u>	<u>2030年夏頃</u> <u>2030年秋頃</u>	8年目	工事の完了 I R施設の開業 ^{※3}	～2033年4月	10年目	設置運営事業の実施
時期	区域整備計画上の事業年度	工程（想定）																																			
2022年秋頃～	1年目	区域整備計画の認定 ^{※1} 行政手続き・調査・準備工事の着手 ^{※2}																																			
2023年春～夏頃	2年目	工事の発注及び着手 ^{※3}																																			
2029年夏～秋頃 2029年秋～冬頃	7～8年目	工事の完了 ^{※3} I R施設の開業 ^{※3}																																			
～2032年秋頃	10年目	設置運営事業の実施																																			
時期	区域整備計画上の事業年度	工程（想定） ^{※1}																																			
<u>2023年4月</u> <u>2023年春頃～</u> <u>2023年夏頃</u>	1年目	区域整備計画の認定 行政手続き・調査 ^{※2} <u>実施協定の締結認可^{※3}</u>																																			
<u>2023年秋頃</u>		<u>実施協定・事業用定期借地権設定契約等の締結^{※3}</u> <u>液状化対策工事の着手</u>																																			
<u>2024年夏頃</u>		<u>I R準備工事の発注及び着手</u>																																			
<u>2025年春頃</u>	<u>3年目</u>	<u>I R建設工事の発注及び着手</u>																																			
<u>2030年夏頃</u> <u>2030年秋頃</u>	8年目	工事の完了 I R施設の開業 ^{※3}																																			
～2033年4月	10年目	設置運営事業の実施																																			
2	要求基準 4	<p>① I R区域の土地に関する所有権の取得等の方法及び予定時期</p> <p>2. 所有権の取得等の予定時期 令和5年度頃（2023年度頃）～ ※液状化対策工事の進捗状況を踏まえ、順次、大阪市より土地引渡しを受ける。</p>	<p>① I R区域の土地に関する所有権の取得等の方法及び予定時期</p> <p>2. 所有権の取得等の予定時期 令和<u>6</u>年度頃（2024年度頃）～ ※液状化対策工事の進捗状況を踏まえ、順次、大阪市より土地引渡しを受ける。</p>																																		

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）
3	要求基準4	<p>② 収支計画及び資金計画</p> <p>1. 収支計画</p> <p>(1) 収支計画の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定区域整備計画第8期（2030年3月期）に開業を想定。 ・開業3年目期のI R事業全体の売上高は約5,200億円、当期純利益は約750億円を見込む。 ・カジノ部門が収益の約8割を占める。 ・主な営業費用は、カジノ部門では納付金及び人件費、非カジノ部門では人件費となっている。 <p>(2) 財政状況（資産・負債）の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中核株主に加え、中核株主以外の少数株主の出資により、事業期間を通じて安定的な財務状況が維持される見込み。 ・また、開業3年目期末の自己資本比率は約60%となる見込み。 <p>(3) 予定損益の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業3年目期においては、カジノ事業からの収益は約4,200億円（全体収益の80%程度）、非カジノ事業からの収益は約1,000億円（全体収益の20%程度）を見込む。 ・カジノ事業の売上高の前提となるカジノ施設来訪者数は、国内人口、国内旅行者数、訪日外国人旅行者数等の直近の推移、先行する海外I Rにおける集客実績等を踏まえて試算した結果、開業3年目期に年間約1,610万人を見込む。 ・非カジノ事業については、カジノ施設以外の中核施設やコンテンツ更新、開発への再投資等により、漸進的・段階的な収益の増加をめざす。 <p>(4) 予定キャッシュ・フローの見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設期間は、建設コスト及び開業準備費の支出を株主からの出資及び金融機関からの借入で調達。 ・運営開始後は、営業キャッシュ・フローが黒字化する開業2年目期から金融機関に対する借入返済を本格化。 ・開業2年目期に営業キャッシュ・フロー及びフリーキャッシュ・フローが黒字化。事業から創出したキャッシュは、金融機関からの借入の返済に充てると同時に、I R施設の経常修繕・大規模修繕、コンテンツ更新・開発等への投資を行うことを想定。 	<p>② 収支計画及び資金計画</p> <p>1. 収支計画</p> <p>(1) 収支計画の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定区域整備計画第8期（2031年3月期）に開業を想定。 ・開業3年目期のI R事業全体の売上高は約5,200億円、当期純利益は約850億円を見込む。 ・カジノ部門が収益の約8割を占める。 ・主な営業費用は、カジノ部門では納付金及び人件費、非カジノ部門では人件費となっている。 <p>(2) 財政状況（資産・負債）の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中核株主に加え、中核株主以外の少数株主の出資により、事業期間を通じて安定的な財務状況が維持される見込み。 ・また、開業3年目期末の自己資本比率は約60%となる見込み。 <p>(3) 予定損益の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業3年目期においては、カジノ事業からの収益は約4,200億円（全体収益の80%程度）、非カジノ事業からの収益は約1,000億円（全体収益の20%程度）を見込む。 ・カジノ事業の売上高の前提となるカジノ施設来訪者数は、国内人口、国内旅行者数、訪日外国人旅行者数等の直近の推移、先行する海外I Rにおける集客実績等を踏まえて試算した結果、開業3年目期に年間約1,610万人を見込む。 ・非カジノ事業については、カジノ施設以外の中核施設やコンテンツ更新、開発への再投資等により、漸進的・段階的な収益の増加をめざす。 <p>(4) 予定キャッシュ・フローの見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設期間は、建設コスト及び開業準備費の支出を株主からの出資及び金融機関からの借入で調達。 ・運営開始後は、営業キャッシュ・フローが黒字化する開業2年目期から金融機関に対する借入返済を本格化。 ・開業2年目期に営業キャッシュ・フロー及びフリーキャッシュ・フローが黒字化。事業から創出したキャッシュは、金融機関からの借入の返済に充てると同時に、I R施設の経常修繕・大規模修繕、コンテンツ更新・開発等への投資を行うことを想定。

② 収支計画及び資金計画

2. 資金計画

(1) 資金調達計画

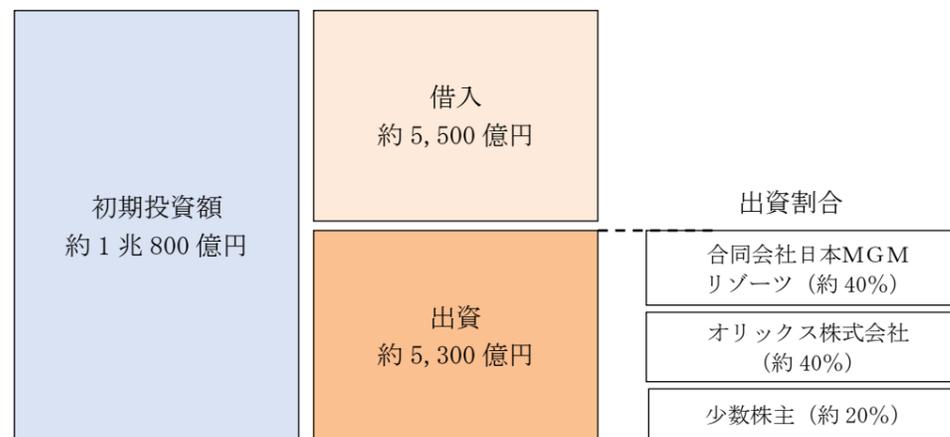
- ・資金調達総額は約1兆800億円^{※1}であり、株主による出資(自己資本)により約5,300億円(約49%)、金融機関からの借入により約5,500億円(約43%)^{※2}を調達する想定^{※3}。

※1 資金調達総額は消費税(控除対象外消費税を除く。)を含まない。

※2 金融機関からの借入金額は消費税ローン及び運転資金用コミットメントラインを含まない。

※3 出資と借入の資金調達額の内訳は、資金調達環境の影響や金融機関の融資方針等により、今後変更の可能性はある。

【図表2：資金調達計画の概要】



② 収支計画及び資金計画

2. 資金計画

(1) 資金調達計画

- ・資金調達総額は約1兆2,700億円^{※1}であり、株主による出資(自己資本)により約7,200億円(約57%)、金融機関からの借入により約5,500億円(約43%)^{※2}を調達する想定^{※3}。

※1 資金調達総額は消費税(控除対象外消費税を除く。)を含まない。

※2 金融機関からの借入金額は消費税ローン及び運転資金用コミットメントラインを含まない。

※3 出資と借入の資金調達額の内訳は、資金調達環境の影響や金融機関の融資方針等により、今後変更の可能性はある。

【図表2：資金調達計画の概要】



NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）																																																																																						
		<p>(2) 資金調達の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達の内訳は、下表のとおり。 中核株主である合同会社日本MGMリゾート^{*1}及びオリックス株式会社のほか、関西企業を中心とする中核株主以外の複数の少数株主^{*2}による出資に加え、Mandated Lead Arranger（主幹事行）となる株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーションに参加する複数の金融機関からのプロジェクトファイナンス（シニアローン）での借入により資金調達を行う予定。 ※1 合同会社日本MGMリゾートは、MGMリゾート・インターナショナルの完全子会社である。 ※2 各少数株主の議決権割合は5%未満であり、認可主要株主には該当しない。 <p style="text-align: center;">【図表3：資金調達の内訳】</p> <table border="1" data-bbox="641 674 1653 1108"> <thead> <tr> <th>資金の内訳及び調達方法</th> <th>種類</th> <th>金額</th> <th>調達割合</th> <th>資金提供者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">自己資本</td> <td rowspan="3">資本金</td> <td>普通株式</td> <td>約2,120億円</td> <td>約20%</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> </tr> <tr> <td></td> <td>約2,120億円</td> <td>約20%</td> <td>オリックス株式会社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>約1,060億円</td> <td>約10%</td> <td>中核株主以外の少数株主全体</td> </tr> <tr> <td>自己資本合計</td> <td>約5,300億円</td> <td>約49%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">他人資本</td> <td>借入金</td> <td>シニアローン</td> <td>約5,500億円</td> <td>約51%</td> <td>株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関</td> </tr> <tr> <td>他人資本合計</td> <td>約5,500億円</td> <td>約51%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">資金調達総額・割合</td> <td>約1兆800億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)</td> <td>約1兆800億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 上記のほか、開発期間にかかる消費税については、消費税還付金を返済原資とする消費税ローンを金融機関より調達する予定。 さらに、季節要因等による一時的な運転資金の増加、感染症の大流行等の緊急事態等に対して資金繰りの柔軟性を確保するため、金融機関より運転資金用コミットメントラインの設定を受ける予定。 <p>(3) 資金調達方法及び資金抛出の蓋然性</p> <p>c. 中核株主以外の少数株主</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核株主以外の少数株主による出資金額の調達は、各少数株主の手元資金又は借入により行う。 関西企業を中心とする複数の少数株主から、IR事業者の資本金の約20%に相当する出資総額のコミットを取得している。 	資金の内訳及び調達方法	種類	金額	調達割合	資金提供者	自己資本	資本金	普通株式	約2,120億円	約20%	合同会社日本MGMリゾート		約2,120億円	約20%	オリックス株式会社		約1,060億円	約10%	中核株主以外の少数株主全体	自己資本合計	約5,300億円	約49%		他人資本	借入金	シニアローン	約5,500億円	約51%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関	他人資本合計	約5,500億円	約51%		資金調達総額・割合		約1兆800億円	100%		(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)		約1兆800億円	100%		<p>(2) 資金調達の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達の内訳は、下表のとおり。 中核株主である合同会社日本MGMリゾート^{*1}及びオリックス株式会社のほか、関西企業を中心とする中核株主以外の複数の少数株主^{*2}による出資に加え、Mandated Lead Arranger（主幹事行）となる株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーションに参加する複数の金融機関からのプロジェクトファイナンス（シニアローン）での借入により資金調達を行う予定。 ※1 合同会社日本MGMリゾートは、MGMリゾート・インターナショナルの完全子会社である。 ※2 各少数株主の議決権割合は5%未満であり、認可主要株主には該当しない。 <p style="text-align: center;">【図表3：資金調達の内訳】</p> <table border="1" data-bbox="1682 674 2694 1108"> <thead> <tr> <th>資金の内訳及び調達方法</th> <th>種類</th> <th>金額</th> <th>調達割合</th> <th>資金提供者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">自己資本</td> <td rowspan="3">資本金</td> <td>普通株式</td> <td>約3,060億円</td> <td>約24%</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> </tr> <tr> <td></td> <td>約3,060億円</td> <td>約24%</td> <td>オリックス株式会社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>約1,060億円</td> <td>約8%</td> <td>中核株主以外の少数株主全体</td> </tr> <tr> <td>自己資本合計</td> <td>約7,200億円</td> <td>約57%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">他人資本</td> <td>借入金</td> <td>シニアローン</td> <td>約5,500億円</td> <td>約43%</td> <td>株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関</td> </tr> <tr> <td>他人資本合計</td> <td>約5,500億円</td> <td>約43%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">資金調達総額・割合</td> <td>約1兆2,700億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)</td> <td>約1兆2,700億円</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 上記のほか、開発期間にかかる消費税については、消費税還付金を返済原資とする消費税ローンを金融機関より調達する予定。 さらに、季節要因等による一時的な運転資金の増加、感染症の大流行等の緊急事態等に対して資金繰りの柔軟性を確保するため、金融機関より運転資金用コミットメントラインの設定を受ける予定。 <p>(3) 資金調達方法及び資金抛出の蓋然性</p> <p>c. 中核株主以外の少数株主</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核株主以外の少数株主による出資金額の調達は、各少数株主の手元資金又は借入により行う。 関西企業を中心とする複数の少数株主から、IR事業者の資本金の約15%に相当する出資総額のコミットを取得している。 	資金の内訳及び調達方法	種類	金額	調達割合	資金提供者	自己資本	資本金	普通株式	約3,060億円	約24%	合同会社日本MGMリゾート		約3,060億円	約24%	オリックス株式会社		約1,060億円	約8%	中核株主以外の少数株主全体	自己資本合計	約7,200億円	約57%		他人資本	借入金	シニアローン	約5,500億円	約43%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関	他人資本合計	約5,500億円	約43%		資金調達総額・割合		約1兆2,700億円	100%		(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)		約1兆2,700億円	100%	
資金の内訳及び調達方法	種類	金額	調達割合	資金提供者																																																																																					
自己資本	資本金	普通株式	約2,120億円	約20%	合同会社日本MGMリゾート																																																																																				
			約2,120億円	約20%	オリックス株式会社																																																																																				
			約1,060億円	約10%	中核株主以外の少数株主全体																																																																																				
	自己資本合計	約5,300億円	約49%																																																																																						
他人資本	借入金	シニアローン	約5,500億円	約51%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関																																																																																				
	他人資本合計	約5,500億円	約51%																																																																																						
資金調達総額・割合		約1兆800億円	100%																																																																																						
(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)		約1兆800億円	100%																																																																																						
資金の内訳及び調達方法	種類	金額	調達割合	資金提供者																																																																																					
自己資本	資本金	普通株式	約3,060億円	約24%	合同会社日本MGMリゾート																																																																																				
			約3,060億円	約24%	オリックス株式会社																																																																																				
			約1,060億円	約8%	中核株主以外の少数株主全体																																																																																				
	自己資本合計	約7,200億円	約57%																																																																																						
他人資本	借入金	シニアローン	約5,500億円	約43%	株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行その他シンジケーション参加金融機関																																																																																				
	他人資本合計	約5,500億円	約43%																																																																																						
資金調達総額・割合		約1兆2,700億円	100%																																																																																						
(うち、設置運営事業等の費用総額・割合)		約1兆2,700億円	100%																																																																																						

NO.	様式	区域整備計画 (2022年4月25日)	区域整備計画 (2023年9月8日)																																																																																																																																																																																								
5	要求基準 8	<p>④ IR事業者の主要株主等基準値以上の数の議決権等の保有者</p> <table border="1" data-bbox="658 296 1644 564"> <tr> <td>保有者(1)名称</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td>保有者(1)住所</td> <td>東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング6階</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ</td> <td>代表者住所</td> <td>アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルバード6385、スイート500</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="658 602 1644 716"> <tr> <th>役員の氏名</th> <th>住所</th> </tr> <tr> <td>ウィリアム・ジェイ・ホーンバックル</td> <td>【個人情報のため住所は非公表】</td> </tr> <tr> <td>エドワード・パウワーズ</td> <td>【個人情報のため住所は非公表】</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="658 753 1644 833"> <tr> <td>保有者(2)名称</td> <td>オリックス株式会社</td> <td>保有者(2)住所</td> <td>東京都港区浜松町2-4-1</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>井上 亮</td> <td>代表者住所</td> <td>【個人情報のため住所は非公表】</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="658 871 1644 1451"> <thead> <tr> <th>役員の氏名</th> <th>住所</th> <th>役員の氏名</th> <th>住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>井上 亮</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>湊 通夫</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>入江 修二</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>小寺 徹也</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>松崎 悟</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>有田 英司</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>鈴木 喜輝</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>三宅 誠一</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>スタン・コヤギ</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>影浦 智子</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>竹中 平蔵</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>渡辺 展希</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>マイケル・クスマ</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>井戸 洋行</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>秋山 咲恵</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>羽廣 潔</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>渡辺 博史</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>徳間 隆二郎</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>関根 愛子</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>李 浩</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>程 近智</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>深谷 敏成</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>三上 康章</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>山科 裕子</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>高橋 英丈</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>上谷内 祐二</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>矢野 人麿</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>似内 隆晃</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>高橋 豊典</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>細川 展久</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>坪井 靖博</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	保有者(1)名称	合同会社日本MGMリゾート	保有者(1)住所	東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング6階	代表者名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ	代表者住所	アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルバード6385、スイート500	役員の氏名	住所	ウィリアム・ジェイ・ホーンバックル	【個人情報のため住所は非公表】	エドワード・パウワーズ	【個人情報のため住所は非公表】	保有者(2)名称	オリックス株式会社	保有者(2)住所	東京都港区浜松町2-4-1	代表者名	井上 亮	代表者住所	【個人情報のため住所は非公表】	役員の氏名	住所	役員の氏名	住所	井上 亮	【個人情報のため住所は非公表】	湊 通夫	【個人情報のため住所は非公表】	入江 修二	【個人情報のため住所は非公表】	小寺 徹也	【個人情報のため住所は非公表】	松崎 悟	【個人情報のため住所は非公表】	有田 英司	【個人情報のため住所は非公表】	鈴木 喜輝	【個人情報のため住所は非公表】	三宅 誠一	【個人情報のため住所は非公表】	スタン・コヤギ	【個人情報のため住所は非公表】	影浦 智子	【個人情報のため住所は非公表】	竹中 平蔵	【個人情報のため住所は非公表】	渡辺 展希	【個人情報のため住所は非公表】	マイケル・クスマ	【個人情報のため住所は非公表】	井戸 洋行	【個人情報のため住所は非公表】	秋山 咲恵	【個人情報のため住所は非公表】	羽廣 潔	【個人情報のため住所は非公表】	渡辺 博史	【個人情報のため住所は非公表】	徳間 隆二郎	【個人情報のため住所は非公表】	関根 愛子	【個人情報のため住所は非公表】	李 浩	【個人情報のため住所は非公表】	程 近智	【個人情報のため住所は非公表】	深谷 敏成	【個人情報のため住所は非公表】	三上 康章	【個人情報のため住所は非公表】	山科 裕子	【個人情報のため住所は非公表】	高橋 英丈	【個人情報のため住所は非公表】	上谷内 祐二	【個人情報のため住所は非公表】	矢野 人麿	【個人情報のため住所は非公表】	似内 隆晃	【個人情報のため住所は非公表】	高橋 豊典	【個人情報のため住所は非公表】	細川 展久	【個人情報のため住所は非公表】	坪井 靖博	【個人情報のため住所は非公表】			<p>④ IR事業者の主要株主等基準値以上の数の議決権等の保有者</p> <table border="1" data-bbox="1709 296 2694 564"> <tr> <td>保有者(1)名称</td> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td>保有者(1)住所</td> <td>東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング6階</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ</td> <td>代表者住所</td> <td>アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルバード6385、スイート500</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1709 602 2694 716"> <tr> <th>役員の氏名</th> <th>住所</th> </tr> <tr> <td>ウィリアム・ジェイ・ホーンバックル</td> <td>【個人情報のため住所は非公表】</td> </tr> <tr> <td>エドワード・パウワーズ</td> <td>【個人情報のため住所は非公表】</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1709 753 2694 833"> <tr> <td>保有者(2)名称</td> <td>オリックス株式会社</td> <td>保有者(2)住所</td> <td>東京都港区浜松町2-4-1</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>井上 亮</td> <td>代表者住所</td> <td>【個人情報のため住所は非公表】</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1709 871 2694 1451"> <thead> <tr> <th>役員の氏名</th> <th>住所</th> <th>役員の氏名</th> <th>住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>井上 亮</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>有田 英司</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>入江 修二</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>三宅 誠一</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>松崎 悟</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>影浦 智子</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>スタン・コヤギ</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>渡辺 展希</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>三上 康章</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>井戸 洋行</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>マイケル・クスマ</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>羽廣 潔</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>秋山 咲恵</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>徳間 隆二郎</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>渡辺 博史</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>李 浩</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>関根 愛子</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>大塚 隆司</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>程 近智</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>石原 知彦</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>柳川 範之</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>仲村 郁夫</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>鈴木 喜輝</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>深谷 敏成</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>高橋 英丈</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>山科 裕子</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>矢野 人麿</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>上谷内 祐二</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>高橋 豊典</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>似内 隆晃</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>湊 通夫</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td>細川 展久</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td></tr> <tr><td>小寺 徹也</td><td>【個人情報のため住所は非公表】</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	保有者(1)名称	合同会社日本MGMリゾート	保有者(1)住所	東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング6階	代表者名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ	代表者住所	アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルバード6385、スイート500	役員の氏名	住所	ウィリアム・ジェイ・ホーンバックル	【個人情報のため住所は非公表】	エドワード・パウワーズ	【個人情報のため住所は非公表】	保有者(2)名称	オリックス株式会社	保有者(2)住所	東京都港区浜松町2-4-1	代表者名	井上 亮	代表者住所	【個人情報のため住所は非公表】	役員の氏名	住所	役員の氏名	住所	井上 亮	【個人情報のため住所は非公表】	有田 英司	【個人情報のため住所は非公表】	入江 修二	【個人情報のため住所は非公表】	三宅 誠一	【個人情報のため住所は非公表】	松崎 悟	【個人情報のため住所は非公表】	影浦 智子	【個人情報のため住所は非公表】	スタン・コヤギ	【個人情報のため住所は非公表】	渡辺 展希	【個人情報のため住所は非公表】	三上 康章	【個人情報のため住所は非公表】	井戸 洋行	【個人情報のため住所は非公表】	マイケル・クスマ	【個人情報のため住所は非公表】	羽廣 潔	【個人情報のため住所は非公表】	秋山 咲恵	【個人情報のため住所は非公表】	徳間 隆二郎	【個人情報のため住所は非公表】	渡辺 博史	【個人情報のため住所は非公表】	李 浩	【個人情報のため住所は非公表】	関根 愛子	【個人情報のため住所は非公表】	大塚 隆司	【個人情報のため住所は非公表】	程 近智	【個人情報のため住所は非公表】	石原 知彦	【個人情報のため住所は非公表】	柳川 範之	【個人情報のため住所は非公表】	仲村 郁夫	【個人情報のため住所は非公表】	鈴木 喜輝	【個人情報のため住所は非公表】	深谷 敏成	【個人情報のため住所は非公表】	高橋 英丈	【個人情報のため住所は非公表】	山科 裕子	【個人情報のため住所は非公表】	矢野 人麿	【個人情報のため住所は非公表】	上谷内 祐二	【個人情報のため住所は非公表】	高橋 豊典	【個人情報のため住所は非公表】	似内 隆晃	【個人情報のため住所は非公表】	湊 通夫	【個人情報のため住所は非公表】	細川 展久	【個人情報のため住所は非公表】	小寺 徹也	【個人情報のため住所は非公表】		
保有者(1)名称	合同会社日本MGMリゾート	保有者(1)住所	東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング6階																																																																																																																																																																																								
代表者名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ	代表者住所	アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルバード6385、スイート500																																																																																																																																																																																								
役員の氏名	住所																																																																																																																																																																																										
ウィリアム・ジェイ・ホーンバックル	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																										
エドワード・パウワーズ	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																										
保有者(2)名称	オリックス株式会社	保有者(2)住所	東京都港区浜松町2-4-1																																																																																																																																																																																								
代表者名	井上 亮	代表者住所	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
役員の氏名	住所	役員の氏名	住所																																																																																																																																																																																								
井上 亮	【個人情報のため住所は非公表】	湊 通夫	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
入江 修二	【個人情報のため住所は非公表】	小寺 徹也	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
松崎 悟	【個人情報のため住所は非公表】	有田 英司	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
鈴木 喜輝	【個人情報のため住所は非公表】	三宅 誠一	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
スタン・コヤギ	【個人情報のため住所は非公表】	影浦 智子	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
竹中 平蔵	【個人情報のため住所は非公表】	渡辺 展希	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
マイケル・クスマ	【個人情報のため住所は非公表】	井戸 洋行	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
秋山 咲恵	【個人情報のため住所は非公表】	羽廣 潔	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
渡辺 博史	【個人情報のため住所は非公表】	徳間 隆二郎	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
関根 愛子	【個人情報のため住所は非公表】	李 浩	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
程 近智	【個人情報のため住所は非公表】	深谷 敏成	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
三上 康章	【個人情報のため住所は非公表】	山科 裕子	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
高橋 英丈	【個人情報のため住所は非公表】	上谷内 祐二	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
矢野 人麿	【個人情報のため住所は非公表】	似内 隆晃	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
高橋 豊典	【個人情報のため住所は非公表】	細川 展久	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
坪井 靖博	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																										
保有者(1)名称	合同会社日本MGMリゾート	保有者(1)住所	東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング6階																																																																																																																																																																																								
代表者名	代表社員 MGMジャパン・ホールドコ・エルピー 職務執行者 エドワード・パウワーズ	代表者住所	アメリカ合衆国ネバダ州89118、ラスベガス、サウス・レインボー・ブルバード6385、スイート500																																																																																																																																																																																								
役員の氏名	住所																																																																																																																																																																																										
ウィリアム・ジェイ・ホーンバックル	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																										
エドワード・パウワーズ	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																										
保有者(2)名称	オリックス株式会社	保有者(2)住所	東京都港区浜松町2-4-1																																																																																																																																																																																								
代表者名	井上 亮	代表者住所	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
役員の氏名	住所	役員の氏名	住所																																																																																																																																																																																								
井上 亮	【個人情報のため住所は非公表】	有田 英司	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
入江 修二	【個人情報のため住所は非公表】	三宅 誠一	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
松崎 悟	【個人情報のため住所は非公表】	影浦 智子	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
スタン・コヤギ	【個人情報のため住所は非公表】	渡辺 展希	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
三上 康章	【個人情報のため住所は非公表】	井戸 洋行	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
マイケル・クスマ	【個人情報のため住所は非公表】	羽廣 潔	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
秋山 咲恵	【個人情報のため住所は非公表】	徳間 隆二郎	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
渡辺 博史	【個人情報のため住所は非公表】	李 浩	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
関根 愛子	【個人情報のため住所は非公表】	大塚 隆司	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
程 近智	【個人情報のため住所は非公表】	石原 知彦	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
柳川 範之	【個人情報のため住所は非公表】	仲村 郁夫	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
鈴木 喜輝	【個人情報のため住所は非公表】	深谷 敏成	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
高橋 英丈	【個人情報のため住所は非公表】	山科 裕子	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
矢野 人麿	【個人情報のため住所は非公表】	上谷内 祐二	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
高橋 豊典	【個人情報のため住所は非公表】	似内 隆晃	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
湊 通夫	【個人情報のため住所は非公表】	細川 展久	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																								
小寺 徹也	【個人情報のため住所は非公表】																																																																																																																																																																																										
6	要求基準 8	<p>⑤ IR事業者の主要株主等基準値以上の数の議決権等の保有者の株式及び出資金額</p> <table border="1" data-bbox="641 1614 1644 1808"> <thead> <tr> <th>議決権等の保有者</th> <th>株式の種類</th> <th>株式の数</th> <th>株式の割合</th> <th>出資金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td>譲渡制限付き議決権付き普通株式</td> <td>約424万株</td> <td>約40%</td> <td>約2,120億円</td> </tr> <tr> <td>オリックス株式会社</td> <td>譲渡制限付き議決権付き普通株式</td> <td>約424万株</td> <td>約40%</td> <td>約2,120億円</td> </tr> </tbody> </table>	議決権等の保有者	株式の種類	株式の数	株式の割合	出資金額	合同会社日本MGMリゾート	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約424万株	約40%	約2,120億円	オリックス株式会社	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約424万株	約40%	約2,120億円	<p>⑤ IR事業者の主要株主等基準値以上の数の議決権等の保有者の株式及び出資金額</p> <table border="1" data-bbox="1691 1614 2694 1808"> <thead> <tr> <th>議決権等の保有者</th> <th>株式の種類</th> <th>株式の数</th> <th>株式の割合</th> <th>出資金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合同会社日本MGMリゾート</td> <td>譲渡制限付き議決権付き普通株式</td> <td>約612万株</td> <td>約43%</td> <td>約3,060億円</td> </tr> <tr> <td>オリックス株式会社</td> <td>譲渡制限付き議決権付き普通株式</td> <td>約612万株</td> <td>約43%</td> <td>約3,060億円</td> </tr> </tbody> </table>	議決権等の保有者	株式の種類	株式の数	株式の割合	出資金額	合同会社日本MGMリゾート	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約612万株	約43%	約3,060億円	オリックス株式会社	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約612万株	約43%	約3,060億円																																																																																																																																																										
議決権等の保有者	株式の種類	株式の数	株式の割合	出資金額																																																																																																																																																																																							
合同会社日本MGMリゾート	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約424万株	約40%	約2,120億円																																																																																																																																																																																							
オリックス株式会社	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約424万株	約40%	約2,120億円																																																																																																																																																																																							
議決権等の保有者	株式の種類	株式の数	株式の割合	出資金額																																																																																																																																																																																							
合同会社日本MGMリゾート	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約612万株	約43%	約3,060億円																																																																																																																																																																																							
オリックス株式会社	譲渡制限付き議決権付き普通株式	約612万株	約43%	約3,060億円																																																																																																																																																																																							

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）																																																																																																																																																																		
7	要求基準14	<p>① I R施設に関する所有権の取得の方法及び予定時期</p> <p>2. 所有権の取得の予定時期 2029年夏～秋頃</p> <p>※ 工程が最も早く進捗した場合の想定。なお、新型コロナウイルス感染症の収束状況、I R事業の税制上の取扱い及びカジノ管理規制の整備状況、夢洲特有の地盤性状への対応状況、工事環境等によっては、I R事業の工程に応じて1～3年程度後ろ倒しとなる可能性がある。</p>	<p>① I R施設に関する所有権の取得の方法及び予定時期</p> <p>2. 所有権の取得の予定時期 2030年夏頃</p> <p>※ 工程が最も早く進捗した場合の想定。なお、新型コロナウイルス感染症の収束状況、I R事業の税制上の取扱い及びカジノ管理規制の整備状況、夢洲特有の地盤性状への対応状況、工事環境等によっては、I R事業の工程に応じて1～2年程度後ろ倒しとなる可能性がある。</p>																																																																																																																																																																		
8	要求基準16	<p>① I R施設の維持管理及び設備投資の内容並びにこれらに要する費用の額</p> <p>1. I R施設の維持管理及び設備投資に要する費用の額 運営開始以降のI R施設の維持管理及び設備投資の金額は、下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：維持管理及び設備投資の費用見込み】</p> <table border="1" data-bbox="641 764 1644 1394"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位：億円)</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">I R施設の整備を行うための資本的支出</td> <td>10</td> <td>25</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">経常修繕・大規模修繕・施設建替え</td> <td>カジノ施設</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収益的支出（施設関連）</td> <td>26</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">施設の修理・維持管理・保守関連費用等</td> <td>カジノ施設</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td>25</td> <td>61</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 各I R施設の設備投資の具体的な項目</p> <p>(1) M I C E施設（国際会議場施設及び展示等施設）【費用の見込み：約2億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際会議場施設と展示等施設は、オールインワンM I C E施設として幅広く来訪者を呼び込む魅力的な国際観光拠点であり続けること、また、催事のオンライン化やバーチャル化への対応も見据え、I Tインフラやネット環境等について大容量通信への対応や通信設備の強化を図る等、時勢に応じ最先端で高利便な設備・機能を備えていくことが必要であり、経常的な施設の修繕に加えて、設備更新を含む様々な再投資を実施する。 具体的には、施設空間や各種設備の修繕・更新等、内装、各種備品及びデジタルコンテンツ等の更新等を想定する。 <p>(2) 魅力増進施設【費用の見込み：約1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各魅力増進施設（ガーデンシアター、三道体験スタジオ、ジャパン・フードパビリ 	(単位：億円)		開業1年目	開業2年目	開業3年目	I R施設の整備を行うための資本的支出		10	25	27	経常修繕・大規模修繕・施設建替え	カジノ施設	1	2	2	1号：国際会議場施設	0	1	1	2号：展示等施設	0	1	1	3号：魅力増進施設	0	1	1	4号：送客施設	0	0	0	5号：宿泊施設	3	8	8	6号：来訪及び滞在寄与施設	5	13	14	事業共通施設	0	0	0	収益的支出（施設関連）		26	64	65	施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	1	2	2	1号：国際会議場施設	0	0	0	2号：展示等施設	0	0	0	3号：魅力増進施設	0	0	0	4号：送客施設	-	-	-	5号：宿泊施設	0	0	0	6号：来訪及び滞在寄与施設	0	1	1	事業共通施設	25	61	61	<p>① I R施設の維持管理及び設備投資の内容並びにこれらに要する費用の額</p> <p>1. I R施設の維持管理及び設備投資に要する費用の額 運営開始以降のI R施設の維持管理及び設備投資の金額は、下表のとおり。</p> <p style="text-align: center;">【図表1：維持管理及び設備投資の費用見込み】</p> <table border="1" data-bbox="1691 764 2694 1394"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位：億円)</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">I R施設の整備を行うための資本的支出</td> <td>8</td> <td>25</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">経常修繕・大規模修繕・施設建替え</td> <td>カジノ施設</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収益的支出（施設関連）</td> <td>21</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">施設の修理・維持管理・保守関連費用等</td> <td>カジノ施設</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1号：国際会議場施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2号：展示等施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3号：魅力増進施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4号：送客施設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>5号：宿泊施設</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事業共通施設</td> <td>20</td> <td>61</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 各I R施設の設備投資の具体的な項目</p> <p>(1) M I C E施設（国際会議場施設及び展示等施設）【費用の見込み：約2億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際会議場施設と展示等施設は、オールインワンM I C E施設として幅広く来訪者を呼び込む魅力的な国際観光拠点であり続けること、また、催事のオンライン化やバーチャル化への対応も見据え、I Tインフラやネット環境等について大容量通信への対応や通信設備の強化を図る等、時勢に応じ最先端で高利便な設備・機能を備えていくことが必要であり、経常的な施設の修繕に加えて、設備更新を含む様々な再投資を実施する。 具体的には、施設空間や各種設備の修繕・更新等、内装、各種備品及びデジタルコンテンツ等の更新等を想定する。 <p>(2) 魅力増進施設【費用の見込み：約1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各魅力増進施設（ガーデンシアター、三道体験スタジオ、ジャパン・フードパビリ 	(単位：億円)		開業1年目	開業2年目	開業3年目	I R施設の整備を行うための資本的支出		8	25	27	経常修繕・大規模修繕・施設建替え	カジノ施設	1	2	3	1号：国際会議場施設	0	1	1	2号：展示等施設	0	1	1	3号：魅力増進施設	0	1	1	4号：送客施設	0	0	0	5号：宿泊施設	2	8	8	6号：来訪及び滞在寄与施設	4	13	13	事業共通施設	0	0	0	収益的支出（施設関連）		21	64	65	施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	1	2	2	1号：国際会議場施設	0	0	0	2号：展示等施設	0	0	0	3号：魅力増進施設	0	0	0	4号：送客施設	-	-	-	5号：宿泊施設	0	0	0	6号：来訪及び滞在寄与施設	0	1	1	事業共通施設	20	61	61
(単位：億円)		開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																																																																																	
I R施設の整備を行うための資本的支出		10	25	27																																																																																																																																																																	
経常修繕・大規模修繕・施設建替え	カジノ施設	1	2	2																																																																																																																																																																	
	1号：国際会議場施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	2号：展示等施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	3号：魅力増進施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	4号：送客施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	5号：宿泊施設	3	8	8																																																																																																																																																																	
	6号：来訪及び滞在寄与施設	5	13	14																																																																																																																																																																	
	事業共通施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
収益的支出（施設関連）		26	64	65																																																																																																																																																																	
施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	1	2	2																																																																																																																																																																	
	1号：国際会議場施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	2号：展示等施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	3号：魅力増進施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	4号：送客施設	-	-	-																																																																																																																																																																	
	5号：宿泊施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	6号：来訪及び滞在寄与施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	事業共通施設	25	61	61																																																																																																																																																																	
(単位：億円)		開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																																																																																	
I R施設の整備を行うための資本的支出		8	25	27																																																																																																																																																																	
経常修繕・大規模修繕・施設建替え	カジノ施設	1	2	3																																																																																																																																																																	
	1号：国際会議場施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	2号：展示等施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	3号：魅力増進施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	4号：送客施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	5号：宿泊施設	2	8	8																																																																																																																																																																	
	6号：来訪及び滞在寄与施設	4	13	13																																																																																																																																																																	
	事業共通施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
収益的支出（施設関連）		21	64	65																																																																																																																																																																	
施設の修理・維持管理・保守関連費用等	カジノ施設	1	2	2																																																																																																																																																																	
	1号：国際会議場施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	2号：展示等施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	3号：魅力増進施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	4号：送客施設	-	-	-																																																																																																																																																																	
	5号：宿泊施設	0	0	0																																																																																																																																																																	
	6号：来訪及び滞在寄与施設	0	1	1																																																																																																																																																																	
	事業共通施設	20	61	61																																																																																																																																																																	

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）
		<p>オン、関西ジャパンハウス、関西アート&カルチャーミュージアム）が有する魅力及び機能を維持・向上し、継続的に日本の魅力の発信並びに大阪IRへの来訪及び滞在促進を図るため、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、舞台等における演出装置及び客席設備等の鑑賞空間や飲食・物販等施設の修繕・更新等を想定する。 <p>(3) 送客施設【費用の見込み：約0.1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーケース機能、コンシェルジュ機能及び交通機能（バスターミナル及びフェリーターミナル）から構成される送客施設は、大阪IRを訪れる来訪者を最初に迎える施設となり、大阪・関西の魅力を発信するショーケースでもあることから、来訪者を誘引できる魅力と新規性の維持が図られるよう、施設及びコンテンツへの再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、施設の外観及び内装の修繕・更新等、設備機能やショーケース機能の更新等を想定する。 <p>(4) 宿泊施設【費用の見込み：約8億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設は、大阪IRの施設の中でも最大規模のスケールを誇るとともに、多様な来訪者が滞在する拠点として、様々な付帯サービスを提供することから、客室や共用施設を含めて宿泊施設全体の魅力が維持できるよう、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、宿泊施設客室の内装及び設備、共用施設等の修繕・更新等を想定する。 <p>(5) 来訪及び滞在寄与施設【費用の見込み：約14億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンターテイメント施設、飲食施設、物販施設等は、驚きや感動に満ちた滞在体験を常に提供し、来訪者の滞在環境の向上が図られるよう、非日常のリゾート空間を創出する演出効果への投資を含め、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エンターテイメント施設、飲食施設及び物販施設等の修繕・更新等を想定する。 ・エネルギーセンター、屋外駐車場、「結びの庭」、公園・緑地、大阪IR全体を包括するITシステム等の事業共通施設等については、来訪者が快適にIR区域及び各IR施設に滞在し、各IR施設の魅力や機能を維持・補完・増強するために欠かせない施設であり、その機能が確実に維持されるよう経常的に施設及び設備等への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エネルギーセンターにおける省エネルギー化及び環境配慮のための設備の修繕・更新等、「結びの庭」及び公園における広場・緑地・水景等の修繕・更新等、大阪IRの全体イベントのための音響設備・IT設備等の更新等を想定する。 <p>(6) カジノ施設【費用の見込み：約2億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノ施設では、快適な空間を維持するとともに、来訪者が常に健全にカジノ行為を楽しめるよう、また、日本国内、マカオ、シンガポール等周辺地域のカジノ施設との競争力が維持できるよう、継続的に施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、カジノ施設やカジノ関連機器の修繕・更新等、新しいテクノロジーの導入等を想定する。 	<p>オン、関西ジャパンハウス、関西アート&カルチャーミュージアム）が有する魅力及び機能を維持・向上し、継続的に日本の魅力の発信並びに大阪IRへの来訪及び滞在促進を図るため、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、舞台等における演出装置及び客席設備等の鑑賞空間や飲食・物販等施設の修繕・更新等を想定する。 <p>(3) 送客施設【費用の見込み：約0.1億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーケース機能、コンシェルジュ機能及び交通機能（バスターミナル及びフェリーターミナル）から構成される送客施設は、大阪IRを訪れる来訪者を最初に迎える施設となり、大阪・関西の魅力を発信するショーケースでもあることから、来訪者を誘引できる魅力と新規性の維持が図られるよう、施設及びコンテンツへの再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、施設の外観及び内装の修繕・更新等、設備機能やショーケース機能の更新等を想定する。 <p>(4) 宿泊施設【費用の見込み：約8億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設は、大阪IRの施設の中でも最大規模のスケールを誇るとともに、多様な来訪者が滞在する拠点として、様々な付帯サービスを提供することから、客室や共用施設を含めて宿泊施設全体の魅力が維持できるよう、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、宿泊施設客室の内装及び設備、共用施設等の修繕・更新等を想定する。 <p>(5) 来訪及び滞在寄与施設【費用の見込み：約13億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンターテイメント施設、飲食施設、物販施設等は、驚きや感動に満ちた滞在体験を常に提供し、来訪者の滞在環境の向上が図られるよう、非日常のリゾート空間を創出する演出効果への投資を含め、施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エンターテイメント施設、飲食施設及び物販施設等の修繕・更新等を想定する。 ・エネルギーセンター、屋外駐車場、「結びの庭」、公園・緑地、大阪IR全体を包括するITシステム等の事業共通施設等については、来訪者が快適にIR区域及び各IR施設に滞在し、各IR施設の魅力や機能を維持・補完・増強するために欠かせない施設であり、その機能が確実に維持されるよう経常的に施設及び設備等への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、エネルギーセンターにおける省エネルギー化及び環境配慮のための設備の修繕・更新等、「結びの庭」及び公園における広場・緑地・水景等の修繕・更新等、大阪IRの全体イベントのための音響設備・IT設備等の更新等を想定する。 <p>(6) カジノ施設【費用の見込み：約3億円／年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノ施設では、快適な空間を維持するとともに、来訪者が常に健全にカジノ行為を楽しめるよう、また、日本国内、マカオ、シンガポール等周辺地域のカジノ施設との競争力が維持できるよう、継続的に施設及び設備への再投資（修繕・更新等）を実施する。 ・具体的には、カジノ施設やカジノ関連機器の修繕・更新等、新しいテクノロジーの導入等を想定する。

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）
9	要求基準16	<p>③ 収支計画及び資金計画との整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業までに投資するI R施設の整備費は約1兆828億円であり、開業後のカジノ事業の収益を還元しながら、投資を回収していくこととなる。 ・上記の開業までに投資するI R施設の整備費のほかに、開業後のカジノ事業の収益等の活用として、I R施設の修繕・改修・更新等、運営・維持管理、I R施設において提供するコンテンツの更新・追加、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除のための措置等に還元する予定である。これら開業後のカジノ収益の活用金額は、開業3年目期において、カジノ事業からの収益から租税（納付金を含む。）及び元利支払いを除いた金額の約10%に相当する年間約150億円程度を想定している。 ・上記①②に記載したカジノ事業の収益の活用にかかる費用の見込み額は、収支計画及び資金計画に整合的に反映している。 	<p>③ 収支計画及び資金計画との整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業までに投資するI R施設の整備費は約1兆2,681億円であり、開業後のカジノ事業の収益を還元しながら、投資を回収していくこととなる。 ・上記の開業までに投資するI R施設の整備費のほかに、開業後のカジノ事業の収益等の活用として、I R施設の修繕・改修・更新等、運営・維持管理、I R施設において提供するコンテンツの更新・追加、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除のための措置等に還元する予定である。これら開業後のカジノ収益の活用金額は、開業3年目期において、カジノ事業からの収益から租税（納付金を含む。）及び元利支払いを除いた金額の約10%に相当する年間約150億円程度を想定している。 ・上記①②に記載したカジノ事業の収益の活用にかかる費用の見込み額は、収支計画及び資金計画に整合的に反映している。
10	要求基準17	<p>1. 認定都道府県等入場料納付金・認定都道府県等納付金の見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場料納入金の見込額：年間 約320億円 ・納付金の見込額：年間 約740億円 <p>なお、入場料納入金・納付金ともに、大阪府と大阪市（立地市）で均等に配分する。 ※認定都道府県等入場料納入金・認定都道府県等納付金のほか、大阪府・市として年間約120億円（大阪府：約50億円、大阪市：約70億円）の税収を見込む。</p>	<p>1. 認定都道府県等入場料納付金・認定都道府県等納付金の見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場料納入金の見込額：年間 約320億円 ・納付金の見込額：年間 約740億円 <p>なお、入場料納入金・納付金ともに、大阪府と大阪市（立地市）で均等に配分する。 ※認定都道府県等入場料納入金・認定都道府県等納付金のほか、大阪府・市として年間約140億円（大阪府：約50億円、大阪市：約90億円）の税収を見込む。</p>

11	要求基準18	<p>【1】評価基準17（観光への効果）</p> <p>① MICEの開催件数及び伸び率</p> <p>3. MICEの開催件数の増加件数・伸び率の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪IRの立地に伴い、大阪におけるMICE開催件数（開業3年目）は、国際会議については約1,387件から約2,310件と67%程度増加し、展示会・見本市については約170件から約216件と27%程度増加するものと見込む。 なお、IR区域の後背圏における増加件数・伸び率については、官民の緊密な誘致・開催連携等により、大阪IRの立地の直接的な相乗効果が見込まれる区域として、大阪市内の主要なMICE施設における開催件数を対象としている。 <p>(1) ミーティング及びインセンティブツアーの増加件数・伸び率（年間見込み）</p> <table border="1" data-bbox="641 636 1644 951"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>現状 (2018年度実績)</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪IR</td> <td>—</td> <td>約175件、100% (約175件)</td> <td>約257件、147%程度 (約432件)</td> <td>約24件、6%程度 (約456件)</td> </tr> <tr> <td>大阪の他施設</td> <td>(1,183件)</td> <td>0件、0% (約1,183件)</td> <td>約129件、11%程度 (約1,312件)</td> <td>約129件、10%程度 (約1,441件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(1,183件)</td> <td>約175件、15%程度 (約1,358件)</td> <td>約386件、28%程度 (約1,744件)</td> <td>約153件、9%程度 (約1,897件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) コンベンションの増加件数・伸び率（年間見込み）</p> <table border="1" data-bbox="641 1026 1644 1572"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>現状 (2019年度実績)</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪IR</td> <td>—</td> <td>約11件、100% (約11件)</td> <td>約17件、155%程度 (約28件)</td> <td>約1件、4%程度 (約29件)</td> </tr> <tr> <td>うちICCA基準</td> <td>—</td> <td>約3件、100% (約3件)</td> <td>約6件、200%程度 (約9件)</td> <td>約0件、0%程度 (約9件)</td> </tr> <tr> <td>大阪の他施設</td> <td>(204件)</td> <td>約96件、47%程度 (約300件)</td> <td>約42件、14%程度 (約342件)</td> <td>約42件、12%程度 (約384件)</td> </tr> <tr> <td>うちICCA基準</td> <td>(21件)</td> <td>0件、0% (約21件)</td> <td>0件、0% (約21件)</td> <td>0件、0% (約21件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(204件)</td> <td>約11件、5%程度 (約311件)</td> <td>約59件、19%程度 (370件)</td> <td>約43件、12%程度 (約413件)</td> </tr> <tr> <td>うちICCA基準</td> <td>(21件)</td> <td>約3件、14%程度 (約24件)</td> <td>約6件、25%程度 (約30件)</td> <td>約0件、0%程度 (約30件)</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状 (2018年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目	大阪IR	—	約175件、100% (約175件)	約257件、147%程度 (約432件)	約24件、6%程度 (約456件)	大阪の他施設	(1,183件)	0件、0% (約1,183件)	約129件、11%程度 (約1,312件)	約129件、10%程度 (約1,441件)	合計	(1,183件)	約175件、15%程度 (約1,358件)	約386件、28%程度 (約1,744件)	約153件、9%程度 (約1,897件)	内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目	大阪IR	—	約11件、100% (約11件)	約17件、155%程度 (約28件)	約1件、4%程度 (約29件)	うちICCA基準	—	約3件、100% (約3件)	約6件、200%程度 (約9件)	約0件、0%程度 (約9件)	大阪の他施設	(204件)	約96件、47%程度 (約300件)	約42件、14%程度 (約342件)	約42件、12%程度 (約384件)	うちICCA基準	(21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)	合計	(204件)	約11件、5%程度 (約311件)	約59件、19%程度 (370件)	約43件、12%程度 (約413件)	うちICCA基準	(21件)	約3件、14%程度 (約24件)	約6件、25%程度 (約30件)	約0件、0%程度 (約30件)	<p>【1】評価基準17（観光への効果）</p> <p>① MICEの開催件数及び伸び率</p> <p>3. MICEの開催件数の増加件数・伸び率の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪IRの立地に伴い、大阪におけるMICE開催件数（開業3年目）は、国際会議については約1,387件から約2,310件と67%程度増加し、展示会・見本市については約170件から約216件と27%程度増加するものと見込む。 なお、IR区域の後背圏における増加件数・伸び率については、官民の緊密な誘致・開催連携等により、大阪IRの立地の直接的な相乗効果が見込まれる区域として、大阪市内の主要なMICE施設における開催件数を対象としている。 <p>(1) ミーティング及びインセンティブツアーの増加件数・伸び率（年間見込み）</p> <table border="1" data-bbox="1691 636 2694 951"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>現状 (2018年度実績)</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪IR</td> <td>—</td> <td>約140件、100% (約140件)</td> <td>約292件、209%程度 (約432件)</td> <td>約24件、6%程度 (約456件)</td> </tr> <tr> <td>大阪の他施設</td> <td>(1,183件)</td> <td>0件、0% (約1,183件)</td> <td>約129件、11%程度 (約1,312件)</td> <td>約129件、10%程度 (約1,441件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(1,183件)</td> <td>約140件、12%程度 (約1,323件)</td> <td>約421件、32%程度 (約1,744件)</td> <td>約153件、9%程度 (約1,897件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) コンベンションの増加件数・伸び率（年間見込み）</p> <table border="1" data-bbox="1691 1026 2694 1572"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>現状 (2019年度実績)</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪IR</td> <td>—</td> <td>約8件、100% (約8件)</td> <td>約20件、250%程度 (約28件)</td> <td>約1件、4%程度 (約29件)</td> </tr> <tr> <td>うちICCA基準</td> <td>—</td> <td>約2件、100% (約2件)</td> <td>約7件、350%程度 (約9件)</td> <td>約0件、0%程度 (約9件)</td> </tr> <tr> <td>大阪の他施設</td> <td>(204件)</td> <td>約96件、47%程度 (約300件)</td> <td>約42件、14%程度 (約342件)</td> <td>約42件、12%程度 (約384件)</td> </tr> <tr> <td>うちICCA基準</td> <td>(21件)</td> <td>0件、0% (約21件)</td> <td>0件、0% (約21件)</td> <td>0件、0% (約21件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(204件)</td> <td>約104件、51%程度 (約308件)</td> <td>約62件、20%程度 (約370件)</td> <td>約43件、12%程度 (約413件)</td> </tr> <tr> <td>うちICCA基準</td> <td>(21件)</td> <td>約2件、10%程度 (約23件)</td> <td>約7件、30%程度 (約30件)</td> <td>約0件、0%程度 (約30件)</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状 (2018年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目	大阪IR	—	約140件、100% (約140件)	約292件、209%程度 (約432件)	約24件、6%程度 (約456件)	大阪の他施設	(1,183件)	0件、0% (約1,183件)	約129件、11%程度 (約1,312件)	約129件、10%程度 (約1,441件)	合計	(1,183件)	約140件、12%程度 (約1,323件)	約421件、32%程度 (約1,744件)	約153件、9%程度 (約1,897件)	内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目	大阪IR	—	約8件、100% (約8件)	約20件、250%程度 (約28件)	約1件、4%程度 (約29件)	うちICCA基準	—	約2件、100% (約2件)	約7件、350%程度 (約9件)	約0件、0%程度 (約9件)	大阪の他施設	(204件)	約96件、47%程度 (約300件)	約42件、14%程度 (約342件)	約42件、12%程度 (約384件)	うちICCA基準	(21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)	合計	(204件)	約104件、51%程度 (約308件)	約62件、20%程度 (約370件)	約43件、12%程度 (約413件)	うちICCA基準	(21件)	約2件、10%程度 (約23件)	約7件、30%程度 (約30件)	約0件、0%程度 (約30件)
内訳	現状 (2018年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																													
大阪IR	—	約175件、100% (約175件)	約257件、147%程度 (約432件)	約24件、6%程度 (約456件)																																																																																																													
大阪の他施設	(1,183件)	0件、0% (約1,183件)	約129件、11%程度 (約1,312件)	約129件、10%程度 (約1,441件)																																																																																																													
合計	(1,183件)	約175件、15%程度 (約1,358件)	約386件、28%程度 (約1,744件)	約153件、9%程度 (約1,897件)																																																																																																													
内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																													
大阪IR	—	約11件、100% (約11件)	約17件、155%程度 (約28件)	約1件、4%程度 (約29件)																																																																																																													
うちICCA基準	—	約3件、100% (約3件)	約6件、200%程度 (約9件)	約0件、0%程度 (約9件)																																																																																																													
大阪の他施設	(204件)	約96件、47%程度 (約300件)	約42件、14%程度 (約342件)	約42件、12%程度 (約384件)																																																																																																													
うちICCA基準	(21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)																																																																																																													
合計	(204件)	約11件、5%程度 (約311件)	約59件、19%程度 (370件)	約43件、12%程度 (約413件)																																																																																																													
うちICCA基準	(21件)	約3件、14%程度 (約24件)	約6件、25%程度 (約30件)	約0件、0%程度 (約30件)																																																																																																													
内訳	現状 (2018年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																													
大阪IR	—	約140件、100% (約140件)	約292件、209%程度 (約432件)	約24件、6%程度 (約456件)																																																																																																													
大阪の他施設	(1,183件)	0件、0% (約1,183件)	約129件、11%程度 (約1,312件)	約129件、10%程度 (約1,441件)																																																																																																													
合計	(1,183件)	約140件、12%程度 (約1,323件)	約421件、32%程度 (約1,744件)	約153件、9%程度 (約1,897件)																																																																																																													
内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																													
大阪IR	—	約8件、100% (約8件)	約20件、250%程度 (約28件)	約1件、4%程度 (約29件)																																																																																																													
うちICCA基準	—	約2件、100% (約2件)	約7件、350%程度 (約9件)	約0件、0%程度 (約9件)																																																																																																													
大阪の他施設	(204件)	約96件、47%程度 (約300件)	約42件、14%程度 (約342件)	約42件、12%程度 (約384件)																																																																																																													
うちICCA基準	(21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)	0件、0% (約21件)																																																																																																													
合計	(204件)	約104件、51%程度 (約308件)	約62件、20%程度 (約370件)	約43件、12%程度 (約413件)																																																																																																													
うちICCA基準	(21件)	約2件、10%程度 (約23件)	約7件、30%程度 (約30件)	約0件、0%程度 (約30件)																																																																																																													

NO.	様式	区域整備計画 (2022年4月25日)	区域整備計画 (2023年9月8日)																																																																																																																																																		
		<p>(3) エキシビジョン／イベントの増加件数・伸び率 (年間見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>現状 (2019年度実績)</th> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪IR</td> <td>—</td> <td>約17件、100% (約17件)</td> <td>約26件、153%程度 (約43件)</td> <td>約3件、7%程度 (約46件)</td> </tr> <tr> <td>うちISO基準</td> <td>—</td> <td>約15件、100% (約15件)</td> <td>約26件、173%程度 (約41件)</td> <td>約3件、7%程度 (約44件)</td> </tr> <tr> <td>大阪の他施設</td> <td>(170件)</td> <td>0件、0% (約170件)</td> <td>0件、0% (約170件)</td> <td>0件、0% (約170件)</td> </tr> <tr> <td>うちISO基準</td> <td>(136件)</td> <td>0件、0% (約136件)</td> <td>0件、0% (約136件)</td> <td>0件、0% (約136件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(170件)</td> <td>約17件、10%程度 (約187件)</td> <td>約26件、14%程度 (約213件)</td> <td>約3件、1%程度 (約216件)</td> </tr> <tr> <td>うちISO基準</td> <td>(136件)</td> <td>約15件、11%程度 (約151件)</td> <td>約26件、17%程度 (約177件)</td> <td>約3件、2%程度 (約180件)</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	大阪IR	—	約17件、100% (約17件)	約26件、153%程度 (約43件)	約3件、7%程度 (約46件)	うちISO基準	—	約15件、100% (約15件)	約26件、173%程度 (約41件)	約3件、7%程度 (約44件)	大阪の他施設	(170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)	うちISO基準	(136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)	合計	(170件)	約17件、10%程度 (約187件)	約26件、14%程度 (約213件)	約3件、1%程度 (約216件)	うちISO基準	(136件)	約15件、11%程度 (約151件)	約26件、17%程度 (約177件)	約3件、2%程度 (約180件)	<p>(3) エキシビジョン／イベントの増加件数・伸び率 (年間見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>現状 (2019年度実績)</th> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪IR</td> <td>—</td> <td>約13件、100% (約13件)</td> <td>約30件、231%程度 (約43件)</td> <td>約3件、7%程度 (約46件)</td> </tr> <tr> <td>うちISO基準</td> <td>—</td> <td>約12件、100% (約12件)</td> <td>約29件、242%程度 (約41件)</td> <td>約3件、7%程度 (約44件)</td> </tr> <tr> <td>大阪の他施設</td> <td>(170件)</td> <td>0件、0% (約170件)</td> <td>0件、0% (約170件)</td> <td>0件、0% (約170件)</td> </tr> <tr> <td>うちISO基準</td> <td>(136件)</td> <td>0件、0% (約136件)</td> <td>0件、0% (約136件)</td> <td>0件、0% (約136件)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(170件)</td> <td>約13件、8%程度 (約183件)</td> <td>約30件、16%程度 (約213件)</td> <td>約3件、1%程度 (約216件)</td> </tr> <tr> <td>うちISO基準</td> <td>(136件)</td> <td>約12件、9%程度 (約148件)</td> <td>約29件、20%程度 (約177件)</td> <td>約3件、2%程度 (約180件)</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	大阪IR	—	約13件、100% (約13件)	約30件、231%程度 (約43件)	約3件、7%程度 (約46件)	うちISO基準	—	約12件、100% (約12件)	約29件、242%程度 (約41件)	約3件、7%程度 (約44件)	大阪の他施設	(170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)	うちISO基準	(136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)	合計	(170件)	約13件、8%程度 (約183件)	約30件、16%程度 (約213件)	約3件、1%程度 (約216件)	うちISO基準	(136件)	約12件、9%程度 (約148件)	約29件、20%程度 (約177件)	約3件、2%程度 (約180件)																																																																												
内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期																																																																																																																																																	
大阪IR	—	約17件、100% (約17件)	約26件、153%程度 (約43件)	約3件、7%程度 (約46件)																																																																																																																																																	
うちISO基準	—	約15件、100% (約15件)	約26件、173%程度 (約41件)	約3件、7%程度 (約44件)																																																																																																																																																	
大阪の他施設	(170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)																																																																																																																																																	
うちISO基準	(136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)																																																																																																																																																	
合計	(170件)	約17件、10%程度 (約187件)	約26件、14%程度 (約213件)	約3件、1%程度 (約216件)																																																																																																																																																	
うちISO基準	(136件)	約15件、11%程度 (約151件)	約26件、17%程度 (約177件)	約3件、2%程度 (約180件)																																																																																																																																																	
内訳	現状 (2019年度実績)	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期																																																																																																																																																	
大阪IR	—	約13件、100% (約13件)	約30件、231%程度 (約43件)	約3件、7%程度 (約46件)																																																																																																																																																	
うちISO基準	—	約12件、100% (約12件)	約29件、242%程度 (約41件)	約3件、7%程度 (約44件)																																																																																																																																																	
大阪の他施設	(170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)	0件、0% (約170件)																																																																																																																																																	
うちISO基準	(136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)	0件、0% (約136件)																																																																																																																																																	
合計	(170件)	約13件、8%程度 (約183件)	約30件、16%程度 (約213件)	約3件、1%程度 (約216件)																																																																																																																																																	
うちISO基準	(136件)	約12件、9%程度 (約148件)	約29件、20%程度 (約177件)	約3件、2%程度 (約180件)																																																																																																																																																	
12	要求基準18	<p>② 国内外からのIR区域への来訪者数 (その増加人数・伸び率を含む。)</p> <p>1. IR区域への来訪者数の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> IR区域への来訪者数 (開業3年目期) については、国内旅行者数で約1,358万人、訪日外国人旅行者数で約629万人の合計約1,987万人を見込む。 開業1年目期から開業2年目期は1,123万人 (147.3%) の増加、開業2年目期から開業3年目期は102万人 (5.4%) の増加を見込む。 <p>【図表1：IR区域への来訪者数の増加人数・伸び率 (見込み)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th rowspan="2">現状値 (2019年度)</th> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> <tr> <th>第8期</th> <th>第9期</th> <th>第10期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR区域への来訪者数 (万人)</td> <td>—</td> <td>762</td> <td>1,885</td> <td>1,987</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>—</td> <td>241</td> <td>597</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>—</td> <td>521</td> <td>1,288</td> <td>1,358</td> </tr> <tr> <td>国内 (宿泊)</td> <td>—</td> <td>107</td> <td>265</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>国内 (日帰り)</td> <td>—</td> <td>414</td> <td>1,024</td> <td>1,079</td> </tr> <tr> <td>増加人数 (万人)</td> <td></td> <td>(現状値からの増加数)</td> <td>(前年度からの増加数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外・国内計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,123</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>355</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>767</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>伸び率</td> <td></td> <td>(現状値からの増加率)</td> <td>(前年度からの増加率)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外・国内計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>147.3%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>147.3%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>147.3%</td> <td>5.4%</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状値 (2019年度)	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	第8期	第9期	第10期	IR区域への来訪者数 (万人)	—	762	1,885	1,987	海外	—	241	597	629	国内	—	521	1,288	1,358	国内 (宿泊)	—	107	265	279	国内 (日帰り)	—	414	1,024	1,079	増加人数 (万人)		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)		海外・国内計	—	—	1,123	102	海外	—	—	355	32	国内	—	—	767	70	伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)		海外・国内計	—	—	147.3%	5.4%	海外	—	—	147.3%	5.4%	国内	—	—	147.3%	5.4%	<p>② 国内外からのIR区域への来訪者数 (その増加人数・伸び率を含む。)</p> <p>1. IR区域への来訪者数の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> IR区域への来訪者数 (開業3年目期) については、国内旅行者数で約1,358万人、訪日外国人旅行者数で約629万人の合計約1,987万人を見込む。 開業1年目期から開業2年目期は1,274万人 (208.6%) の増加、開業2年目期から開業3年目期は102万人 (5.4%) の増加を見込む。 <p>【図表1：IR区域への来訪者数の増加人数・伸び率 (見込み)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th rowspan="2">現状値 (2019年度)</th> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> <tr> <th>第8期</th> <th>第9期</th> <th>第10期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR区域への来訪者数 (万人)</td> <td>—</td> <td>611</td> <td>1,885</td> <td>1,987</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>—</td> <td>193</td> <td>597</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>—</td> <td>418</td> <td>1,288</td> <td>1,358</td> </tr> <tr> <td>国内 (宿泊)</td> <td>—</td> <td>86</td> <td>265</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>国内 (日帰り)</td> <td>—</td> <td>332</td> <td>1,024</td> <td>1,079</td> </tr> <tr> <td>増加人数 (万人)</td> <td></td> <td>(現状値からの増加数)</td> <td>(前年度からの増加数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外・国内計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,274</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>403</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>871</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>伸び率</td> <td></td> <td>(現状値からの増加率)</td> <td>(前年度からの増加率)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外・国内計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>208.6%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>208.6%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>国内</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>208.6%</td> <td>5.4%</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状値 (2019年度)	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	第8期	第9期	第10期	IR区域への来訪者数 (万人)	—	611	1,885	1,987	海外	—	193	597	629	国内	—	418	1,288	1,358	国内 (宿泊)	—	86	265	279	国内 (日帰り)	—	332	1,024	1,079	増加人数 (万人)		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)		海外・国内計	—	—	1,274	102	海外	—	—	403	32	国内	—	—	871	70	伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)		海外・国内計	—	—	208.6%	5.4%	海外	—	—	208.6%	5.4%	国内	—	—	208.6%	5.4%
内訳	現状値 (2019年度)	開業1年目期			開業2年目期	開業3年目期																																																																																																																																															
		第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																	
IR区域への来訪者数 (万人)	—	762	1,885	1,987																																																																																																																																																	
海外	—	241	597	629																																																																																																																																																	
国内	—	521	1,288	1,358																																																																																																																																																	
国内 (宿泊)	—	107	265	279																																																																																																																																																	
国内 (日帰り)	—	414	1,024	1,079																																																																																																																																																	
増加人数 (万人)		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)																																																																																																																																																		
海外・国内計	—	—	1,123	102																																																																																																																																																	
海外	—	—	355	32																																																																																																																																																	
国内	—	—	767	70																																																																																																																																																	
伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)																																																																																																																																																		
海外・国内計	—	—	147.3%	5.4%																																																																																																																																																	
海外	—	—	147.3%	5.4%																																																																																																																																																	
国内	—	—	147.3%	5.4%																																																																																																																																																	
内訳	現状値 (2019年度)	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期																																																																																																																																																	
		第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																	
IR区域への来訪者数 (万人)	—	611	1,885	1,987																																																																																																																																																	
海外	—	193	597	629																																																																																																																																																	
国内	—	418	1,288	1,358																																																																																																																																																	
国内 (宿泊)	—	86	265	279																																																																																																																																																	
国内 (日帰り)	—	332	1,024	1,079																																																																																																																																																	
増加人数 (万人)		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)																																																																																																																																																		
海外・国内計	—	—	1,274	102																																																																																																																																																	
海外	—	—	403	32																																																																																																																																																	
国内	—	—	871	70																																																																																																																																																	
伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)																																																																																																																																																		
海外・国内計	—	—	208.6%	5.4%																																																																																																																																																	
海外	—	—	208.6%	5.4%																																																																																																																																																	
国内	—	—	208.6%	5.4%																																																																																																																																																	

NO.	様式	区域整備計画 (2022年4月25日)	区域整備計画 (2023年9月8日)																																																																																																																																																																		
13	要求基準18	<p>2. 来訪者数の増加人数・伸び率の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪IRの立地に伴い、IR区域の後背圏への来訪者数(開業3年目期)は、国内旅行者については約9,815万人、訪日外国人旅行者については約2,520万人を見込む。 なお、IR区域の後背圏の来訪者数の現在値は、「訪日外国人消費動向調査 2019年年間値の推計 ※確報値」(国土交通省観光庁)及び「旅行・観光消費動向調査(2019年1～12月期確報)」(国土交通省観光庁)に基づき設定。 IR区域の後背圏の来訪者数の見込み(増加人数・伸び率)は、「IR区域への来訪者数」のうち「日帰り客」を除いた上で、事業計画において設定した純増分(大阪IRがなくても来訪したと想定される人数を除いた分)として想定した。 ▶後背圏に「大阪府」が含まれることにより、「IR区域外の大阪府」を必然的に来訪(移動途中での交通機関の利用、観光施設、飲食施設への立寄り)は必然)する「宿泊者」(国内・国外を含む。)は、全て後背圏への来訪者とみなした。 ▶日帰り客は、後背圏の来訪者としてはみなさず、これを控除した。 <p>【図表2：IR区域の後背圏への来訪者数の増加人数・伸び率(見込み)】</p> <table border="1" data-bbox="647 762 1644 1598"> <thead> <tr> <th rowspan="3">内訳</th> <th rowspan="3">現状値 (2019年)</th> <th colspan="3">増加人数・伸び率</th> </tr> <tr> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> <tr> <th>第8期</th> <th>第9期</th> <th>第10期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR区域の後背圏への来訪者数</td> <td>11,965</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(万人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 海外</td> <td>2,270</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td> 国内</td> <td>9,695</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増加人数</td> <td></td> <td>(現状値からの増加数)</td> <td colspan="2">(前年度からの増加数)</td> </tr> <tr> <td>(万人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 海外・国内計</td> <td>—</td> <td>142</td> <td>209</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td> 海外</td> <td>—</td> <td>96</td> <td>141</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td> 国内</td> <td>—</td> <td>46</td> <td>68</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>伸び率</td> <td></td> <td>(現状値からの増加率)</td> <td colspan="2">(前年度からの増加率)</td> </tr> <tr> <td>(万人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 海外・国内計</td> <td>—</td> <td>1.2%</td> <td>147.3%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td> 海外</td> <td>—</td> <td>4.2%</td> <td>147.3%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td> 国内</td> <td>—</td> <td>0.5%</td> <td>147.3%</td> <td>5.4%</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状値 (2019年)	増加人数・伸び率			開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	第8期	第9期	第10期	IR区域の後背圏への来訪者数	11,965	—	—	—	(万人)					海外	2,270	—	—	—	国内	9,695	—	—	—	増加人数		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)		(万人)					海外・国内計	—	142	209	19	海外	—	96	141	13	国内	—	46	68	6	伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)		(万人)					海外・国内計	—	1.2%	147.3%	5.4%	海外	—	4.2%	147.3%	5.4%	国内	—	0.5%	147.3%	5.4%	<p>2. 来訪者数の増加人数・伸び率の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪IRの立地に伴い、IR区域の後背圏への来訪者数(開業3年目期)は、国内旅行者については約9,815万人、訪日外国人旅行者については約2,520万人を見込む。 なお、IR区域の後背圏の来訪者数の現在値は、「訪日外国人消費動向調査 2019年年間値の推計 ※確報値」(国土交通省観光庁)及び「旅行・観光消費動向調査(2019年1～12月期確報)」(国土交通省観光庁)に基づき設定。 IR区域の後背圏の来訪者数の見込み(増加人数・伸び率)は、「IR区域への来訪者数」のうち「日帰り客」を除いた上で、事業計画において設定した純増分(大阪IRがなくても来訪したと想定される人数を除いた分)として想定した。 ▶後背圏に「大阪府」が含まれることにより、「IR区域外の大阪府」を必然的に来訪(移動途中での交通機関の利用、観光施設、飲食施設への立寄り)は必然)する「宿泊者」(国内・国外を含む。)は、全て後背圏への来訪者とみなした。 ▶日帰り客は、後背圏の来訪者としてはみなさず、これを控除した。 <p>【図表2：IR区域の後背圏への来訪者数の増加人数・伸び率(見込み)】</p> <table border="1" data-bbox="1697 762 2694 1598"> <thead> <tr> <th rowspan="3">内訳</th> <th rowspan="3">現状値 (2019年)</th> <th colspan="3">増加人数・伸び率</th> </tr> <tr> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> <tr> <th>第8期</th> <th>第9期</th> <th>第10期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR区域の後背圏への来訪者数</td> <td>11,965</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>(万人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 海外</td> <td>2,270</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td> 国内</td> <td>9,695</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>増加人数</td> <td></td> <td>(現状値からの増加数)</td> <td colspan="2">(前年度からの増加数)</td> </tr> <tr> <td>(万人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 海外・国内計</td> <td>—</td> <td>114</td> <td>238</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td> 海外</td> <td>—</td> <td>77</td> <td>160</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td> 国内</td> <td>—</td> <td>37</td> <td>78</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>伸び率</td> <td></td> <td>(現状値からの増加率)</td> <td colspan="2">(前年度からの増加率)</td> </tr> <tr> <td>(万人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 海外・国内計</td> <td>—</td> <td>1.0%</td> <td>208.6%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td> 海外</td> <td>—</td> <td>3.4%</td> <td>208.6%</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td> 国内</td> <td>—</td> <td>0.4%</td> <td>208.6%</td> <td>5.4%</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	現状値 (2019年)	増加人数・伸び率			開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	第8期	第9期	第10期	IR区域の後背圏への来訪者数	11,965	—	—	—	(万人)					海外	2,270	—	—	—	国内	9,695	—	—	—	増加人数		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)		(万人)					海外・国内計	—	114	238	19	海外	—	77	160	13	国内	—	37	78	6	伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)		(万人)					海外・国内計	—	1.0%	208.6%	5.4%	海外	—	3.4%	208.6%	5.4%	国内	—	0.4%	208.6%	5.4%
内訳	現状値 (2019年)	増加人数・伸び率																																																																																																																																																																			
		開業1年目期			開業2年目期	開業3年目期																																																																																																																																																															
		第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																																	
IR区域の後背圏への来訪者数	11,965	—	—	—																																																																																																																																																																	
(万人)																																																																																																																																																																					
海外	2,270	—	—	—																																																																																																																																																																	
国内	9,695	—	—	—																																																																																																																																																																	
増加人数		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)																																																																																																																																																																		
(万人)																																																																																																																																																																					
海外・国内計	—	142	209	19																																																																																																																																																																	
海外	—	96	141	13																																																																																																																																																																	
国内	—	46	68	6																																																																																																																																																																	
伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)																																																																																																																																																																		
(万人)																																																																																																																																																																					
海外・国内計	—	1.2%	147.3%	5.4%																																																																																																																																																																	
海外	—	4.2%	147.3%	5.4%																																																																																																																																																																	
国内	—	0.5%	147.3%	5.4%																																																																																																																																																																	
内訳	現状値 (2019年)	増加人数・伸び率																																																																																																																																																																			
		開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期																																																																																																																																																																	
		第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																																	
IR区域の後背圏への来訪者数	11,965	—	—	—																																																																																																																																																																	
(万人)																																																																																																																																																																					
海外	2,270	—	—	—																																																																																																																																																																	
国内	9,695	—	—	—																																																																																																																																																																	
増加人数		(現状値からの増加数)	(前年度からの増加数)																																																																																																																																																																		
(万人)																																																																																																																																																																					
海外・国内計	—	114	238	19																																																																																																																																																																	
海外	—	77	160	13																																																																																																																																																																	
国内	—	37	78	6																																																																																																																																																																	
伸び率		(現状値からの増加率)	(前年度からの増加率)																																																																																																																																																																		
(万人)																																																																																																																																																																					
海外・国内計	—	1.0%	208.6%	5.4%																																																																																																																																																																	
海外	—	3.4%	208.6%	5.4%																																																																																																																																																																	
国内	—	0.4%	208.6%	5.4%																																																																																																																																																																	

NO.	様式	区域整備計画 (2022年4月25日)	区域整備計画 (2023年9月8日)																																																												
14	要求基準18	<p>③ 送客施設の機能による他地域への観光客数</p> <p>1. 送客施設の機能による他地域への観光客数</p> <ul style="list-style-type: none"> 送客施設機能（コンシェルジュ機能）によって他地域へ送り出す観光客の数（開業3年目期）については、年間約4.3万人を見込む。 上記の約4.3万人は、コンシェルジュ機能の利用により、他地域へ送り出す観光客の数の見込みを推計した。その他、送客施設に隣接して整備する大規模なバスターミナルや、海上アクセス拠点等から、観光事業者及び関西の交通事業者等との連携により、日本各地への送客をめざす。 <p>【図表3：送客施設の機能による他地域への観光客数（年間見込み）】</p> <table border="1" data-bbox="641 617 1647 705"> <thead> <tr> <th></th> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他地域への観光客</td> <td>約1.7万人</td> <td>約4.1万人</td> <td>約4.3万人</td> </tr> </tbody> </table>		開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	他地域への観光客	約1.7万人	約4.1万人	約4.3万人	<p>③ 送客施設の機能による他地域への観光客数</p> <p>1. 送客施設の機能による他地域への観光客数</p> <ul style="list-style-type: none"> 送客施設機能（コンシェルジュ機能）によって他地域へ送り出す観光客の数（開業3年目期）については、年間約4.3万人を見込む。 上記の約4.3万人は、コンシェルジュ機能の利用により、他地域へ送り出す観光客の数の見込みを推計した。その他、送客施設に隣接して整備する大規模なバスターミナルや、海上アクセス拠点等から、観光事業者及び関西の交通事業者等との連携により、日本各地への送客をめざす。 <p>【図表3：送客施設の機能による他地域への観光客数（年間見込み）】</p> <table border="1" data-bbox="1691 617 2697 705"> <thead> <tr> <th></th> <th>開業1年目期</th> <th>開業2年目期</th> <th>開業3年目期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他地域への観光客</td> <td>約1.3万人</td> <td>約4.1万人</td> <td>約4.3万人</td> </tr> </tbody> </table>		開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期	他地域への観光客	約1.3万人	約4.1万人	約4.3万人																																												
	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期																																																												
他地域への観光客	約1.7万人	約4.1万人	約4.3万人																																																												
	開業1年目期	開業2年目期	開業3年目期																																																												
他地域への観光客	約1.3万人	約4.1万人	約4.3万人																																																												
15	要求基準18	<p>【2】評価基準18 地域経済への効果</p> <p>① IR施設に対する投資の金額の見込み（IR施設を構成する各施設に対する投資の金額の見込み額を含む。）</p> <p>1. IR施設の投資の金額の見込み</p> <p style="text-align: right;">(単位：億円)</p> <table border="1" data-bbox="623 1024 1656 1598"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>初期投資額 (消費税抜)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 建設関連投資</td> <td>7,871</td> </tr> <tr> <td> (1) 建築物整備費</td> <td>6,530</td> </tr> <tr> <td> ① 建築工事費</td> <td>5,703</td> </tr> <tr> <td> カジノ施設</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td> 1号：国際会議場施設</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td> 2号：展示等施設</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td> 3号：魅力増進施設</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td> 4号：送客施設</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td> 5号：宿泊施設</td> <td>1,947</td> </tr> <tr> <td> 6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>2,775</td> </tr> <tr> <td> ② 建築関連費用</td> <td>827</td> </tr> <tr> <td> (2) その他建築関連投資</td> <td>1,341</td> </tr> <tr> <td>2. その他初期投資額</td> <td>2,957</td> </tr> <tr> <td> 初期投資総額 (=1. +2.)</td> <td>10,828</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	初期投資額 (消費税抜)	1. 建設関連投資	7,871	(1) 建築物整備費	6,530	① 建築工事費	5,703	カジノ施設	424	1号：国際会議場施設	235	2号：展示等施設	220	3号：魅力増進施設	94	4号：送客施設	9	5号：宿泊施設	1,947	6号：来訪及び滞在寄与施設	2,775	② 建築関連費用	827	(2) その他建築関連投資	1,341	2. その他初期投資額	2,957	初期投資総額 (=1. +2.)	10,828	<p>【2】評価基準18 地域経済への効果</p> <p>① IR施設に対する投資の金額の見込み（IR施設を構成する各施設に対する投資の金額の見込み額を含む。）</p> <p>1. IR施設の投資の金額の見込み</p> <p style="text-align: right;">(単位：億円)</p> <table border="1" data-bbox="1676 1024 2709 1614"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>初期投資額 (消費税抜)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 建設関連投資</td> <td>9,545</td> </tr> <tr> <td> (1) 建築物整備費</td> <td>7,988</td> </tr> <tr> <td> ① 建築工事費</td> <td>7,221</td> </tr> <tr> <td> カジノ施設</td> <td>537</td> </tr> <tr> <td> 1号：国際会議場施設</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td> 2号：展示等施設</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td> 3号：魅力増進施設</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td> 4号：送客施設</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td> 5号：宿泊施設</td> <td>2,465</td> </tr> <tr> <td> 6号：来訪及び滞在寄与施設</td> <td>3,513</td> </tr> <tr> <td> ② 建築関連費用</td> <td>767</td> </tr> <tr> <td> (2) その他建築関連投資</td> <td>1,557</td> </tr> <tr> <td>2. その他初期投資額</td> <td>3,136</td> </tr> <tr> <td> 初期投資総額 (=1. +2.)</td> <td>12,681</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	初期投資額 (消費税抜)	1. 建設関連投資	9,545	(1) 建築物整備費	7,988	① 建築工事費	7,221	カジノ施設	537	1号：国際会議場施設	298	2号：展示等施設	278	3号：魅力増進施設	119	4号：送客施設	11	5号：宿泊施設	2,465	6号：来訪及び滞在寄与施設	3,513	② 建築関連費用	767	(2) その他建築関連投資	1,557	2. その他初期投資額	3,136	初期投資総額 (=1. +2.)	12,681
項目名	初期投資額 (消費税抜)																																																														
1. 建設関連投資	7,871																																																														
(1) 建築物整備費	6,530																																																														
① 建築工事費	5,703																																																														
カジノ施設	424																																																														
1号：国際会議場施設	235																																																														
2号：展示等施設	220																																																														
3号：魅力増進施設	94																																																														
4号：送客施設	9																																																														
5号：宿泊施設	1,947																																																														
6号：来訪及び滞在寄与施設	2,775																																																														
② 建築関連費用	827																																																														
(2) その他建築関連投資	1,341																																																														
2. その他初期投資額	2,957																																																														
初期投資総額 (=1. +2.)	10,828																																																														
項目名	初期投資額 (消費税抜)																																																														
1. 建設関連投資	9,545																																																														
(1) 建築物整備費	7,988																																																														
① 建築工事費	7,221																																																														
カジノ施設	537																																																														
1号：国際会議場施設	298																																																														
2号：展示等施設	278																																																														
3号：魅力増進施設	119																																																														
4号：送客施設	11																																																														
5号：宿泊施設	2,465																																																														
6号：来訪及び滞在寄与施設	3,513																																																														
② 建築関連費用	767																																																														
(2) その他建築関連投資	1,557																																																														
2. その他初期投資額	3,136																																																														
初期投資総額 (=1. +2.)	12,681																																																														

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）																																								
16	要求基準18	<p>2. IR施設全体に対する投資による経済波及効果</p> <p style="text-align: right;">（単位：億円）</p> <table border="1" data-bbox="626 296 1659 474"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>8,061</td> <td>3,796</td> <td>2,379</td> <td>14,237</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備）</td> <td>994</td> <td>416</td> <td>244</td> <td>1,655</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,055</td> <td>4,212</td> <td>2,624</td> <td>15,892</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 経済波及効果の推計方法</p> <ul style="list-style-type: none"> IR施設の建設及び開業準備において発生する需要について、事業計画をベースに、「平成17年近畿地域産業連関表」（経済産業省近畿経済産業局）を用いて推計した。 	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	8,061	3,796	2,379	14,237	IR施設（開業準備）	994	416	244	1,655	合計	9,055	4,212	2,624	15,892	<p>2. IR施設全体に対する投資による経済波及効果</p> <p style="text-align: right;">（単位：億円）</p> <table border="1" data-bbox="1676 296 2709 474"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>9,855</td> <td>4,641</td> <td>2,909</td> <td>17,405</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備）</td> <td>1,035</td> <td>439</td> <td>252</td> <td>1,726</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,890</td> <td>5,080</td> <td>3,161</td> <td>19,131</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 経済波及効果の推計方法</p> <ul style="list-style-type: none"> IR施設の建設及び開業準備において発生する需要について、事業計画をベースに、「平成17年近畿地域産業連関表」（経済産業省近畿経済産業局）を用いて推計した。 	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	9,855	4,641	2,909	17,405	IR施設（開業準備）	1,035	439	252	1,726	合計	10,890	5,080	3,161	19,131
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																							
IR施設（建設）	8,061	3,796	2,379	14,237																																							
IR施設（開業準備）	994	416	244	1,655																																							
合計	9,055	4,212	2,624	15,892																																							
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																							
IR施設（建設）	9,855	4,641	2,909	17,405																																							
IR施設（開業準備）	1,035	439	252	1,726																																							
合計	10,890	5,080	3,161	19,131																																							
17	要求基準18	<p>3. 建設フェーズにおける雇用創出効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設フェーズにおける雇用効果は、直接効果・間接効果の合計で、約11.6万人を想定する。 <p style="text-align: center;">【図表4：建設フェーズにおける雇用創出効果】</p> <table border="1" data-bbox="626 821 1659 982"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>66,006</td> <td>21,528</td> <td>16,400</td> <td>103,933</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備等）</td> <td>7,885</td> <td>2,900</td> <td>1,699</td> <td>12,483</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>73,891</td> <td>24,428</td> <td>18,099</td> <td>116,416</td> </tr> </tbody> </table>	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	66,006	21,528	16,400	103,933	IR施設（開業準備等）	7,885	2,900	1,699	12,483	合計	73,891	24,428	18,099	116,416	<p>3. 建設フェーズにおける雇用創出効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設フェーズにおける雇用効果は、直接効果・間接効果の合計で、約14.0万人を想定する。 <p style="text-align: center;">【図表4：建設フェーズにおける雇用創出効果】</p> <table border="1" data-bbox="1676 821 2709 982"> <thead> <tr> <th>建設フェーズ</th> <th>直接効果</th> <th>1次波及効果</th> <th>2次波及効果</th> <th>波及効果合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IR施設（建設）</td> <td>80,693</td> <td>26,318</td> <td>20,049</td> <td>127,061</td> </tr> <tr> <td>IR施設（開業準備等）</td> <td>7,968</td> <td>3,072</td> <td>1,749</td> <td>12,789</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>88,661</td> <td>29,390</td> <td>21,798</td> <td>139,850</td> </tr> </tbody> </table>	建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計	IR施設（建設）	80,693	26,318	20,049	127,061	IR施設（開業準備等）	7,968	3,072	1,749	12,789	合計	88,661	29,390	21,798	139,850
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																							
IR施設（建設）	66,006	21,528	16,400	103,933																																							
IR施設（開業準備等）	7,885	2,900	1,699	12,483																																							
合計	73,891	24,428	18,099	116,416																																							
建設フェーズ	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	波及効果合計																																							
IR施設（建設）	80,693	26,318	20,049	127,061																																							
IR施設（開業準備等）	7,968	3,072	1,749	12,789																																							
合計	88,661	29,390	21,798	139,850																																							

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）																																																																																																																																																																																										
18	要求基準18	<p>② I R区域への来訪者による旅行消費額の見込み（その増加額・伸び率を含む。）</p> <p>1. 来訪者がI R区域に滞在している間に支出する金額（旅行消費額）の見込み、増加額・伸び率</p> <p>(1) I R開業から区域整備計画に記載する工程の最終年度（10年後）まで</p> <table border="1" data-bbox="626 426 1647 709"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> <tr> <th>第8期</th> <th>第9期</th> <th>第10期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪日外国人旅行者</td> <td>億円</td> <td>1,375</td> <td>3,419</td> <td>3,623</td> </tr> <tr> <td>国内旅行者（宿泊）</td> <td>億円</td> <td>346</td> <td>862</td> <td>910</td> </tr> <tr> <td>国内旅行者（日帰り）</td> <td>億円</td> <td>806</td> <td>1,996</td> <td>2,104</td> </tr> <tr> <td>対前年増加額</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>3,750</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>対前年伸び率</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>148.4</td> <td>5.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) I R区域の後背圏における旅行消費額の現状値</p> <p>c. I R区域の後背圏における旅行消費額の見込み</p> <p>「I R区域の後背圏における旅行消費額」については、I R区域への滞在期間中におけるI R施設外での消費支出に、I R区域の滞在期間外での近畿圏（2府5県）での消費支出を加えたものとした。</p> <p>【図表5：I R区域の後背圏における旅行消費額の見込み】</p> <table border="1" data-bbox="641 1010 1641 1476"> <thead> <tr> <th rowspan="3">内訳</th> <th rowspan="3">単位</th> <th rowspan="3">現状値</th> <th colspan="3">増加額・伸び率</th> </tr> <tr> <th colspan="3">※第8期～第10期は増加額の累計</th> </tr> <tr> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2019年</td> <td>第8期</td> <td>第9期</td> <td>第10期</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪日外国人旅行者</td> <td>億円</td> <td>10,059</td> <td>3,050</td> <td>7,542</td> <td>7,946</td> </tr> <tr> <td>国内旅行者</td> <td>億円</td> <td>19,229</td> <td>929</td> <td>2,297</td> <td>2,422</td> </tr> <tr> <td> 国内旅行者（宿泊）</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>430</td> <td>1,063</td> <td>1,121</td> </tr> <tr> <td> 国内旅行者（日帰り）</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>499</td> <td>1,234</td> <td>1,301</td> </tr> <tr> <td>海外・国内合計</td> <td>億円</td> <td>29,288</td> <td>3,978</td> <td>9,839</td> <td>10,368</td> </tr> <tr> <td>対前年増加額 （第8期は対現状値増加額）</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>3,978</td> <td>5,861</td> <td>529</td> </tr> <tr> <td>対前年伸び率 （第8期は対現状値伸び率）</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>13.6</td> <td>147.3</td> <td>5.4</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	単位	開業1年目	開業2年目	開業3年目	第8期	第9期	第10期	訪日外国人旅行者	億円	1,375	3,419	3,623	国内旅行者（宿泊）	億円	346	862	910	国内旅行者（日帰り）	億円	806	1,996	2,104	対前年増加額	億円	-	3,750	361	対前年伸び率	%	-	148.4	5.8	内訳	単位	現状値	増加額・伸び率			※第8期～第10期は増加額の累計			開業1年目	開業2年目	開業3年目			2019年	第8期	第9期	第10期	訪日外国人旅行者	億円	10,059	3,050	7,542	7,946	国内旅行者	億円	19,229	929	2,297	2,422	国内旅行者（宿泊）	億円	-	430	1,063	1,121	国内旅行者（日帰り）	億円	-	499	1,234	1,301	海外・国内合計	億円	29,288	3,978	9,839	10,368	対前年増加額 （第8期は対現状値増加額）	億円	-	3,978	5,861	529	対前年伸び率 （第8期は対現状値伸び率）	%	-	13.6	147.3	5.4	<p>② I R区域への来訪者による旅行消費額の見込み（その増加額・伸び率を含む。）</p> <p>1. 来訪者がI R区域に滞在している間に支出する金額（旅行消費額）の見込み、増加額・伸び率</p> <p>(1) I R開業から区域整備計画に記載する工程の最終年度（10年後）まで</p> <table border="1" data-bbox="1676 426 2697 709"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> <tr> <th>第8期</th> <th>第9期</th> <th>第10期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪日外国人旅行者</td> <td>億円</td> <td>1,101</td> <td>3,419</td> <td>3,623</td> </tr> <tr> <td>国内旅行者（宿泊）</td> <td>億円</td> <td>278</td> <td>862</td> <td>910</td> </tr> <tr> <td>国内旅行者（日帰り）</td> <td>億円</td> <td>645</td> <td>1,996</td> <td>2,104</td> </tr> <tr> <td>対前年増加額</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>4,253</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>対前年伸び率</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>210.0</td> <td>5.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) I R区域の後背圏における旅行消費額の現状値</p> <p>c. I R区域の後背圏における旅行消費額の見込み</p> <p>「I R区域の後背圏における旅行消費額」については、I R区域への滞在期間中におけるI R施設外での消費支出に、I R区域の滞在期間外での近畿圏（2府5県）での消費支出を加えたものとした。</p> <p>【図表5：I R区域の後背圏における旅行消費額の見込み】</p> <table border="1" data-bbox="1691 1010 2691 1476"> <thead> <tr> <th rowspan="3">内訳</th> <th rowspan="3">単位</th> <th rowspan="3">現状値</th> <th colspan="3">増加額・伸び率</th> </tr> <tr> <th colspan="3">※第8期～第10期は増加額の累計</th> </tr> <tr> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2019年</td> <td>第8期</td> <td>第9期</td> <td>第10期</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪日外国人旅行者</td> <td>億円</td> <td>10,059</td> <td>2,444</td> <td>7,542</td> <td>7,946</td> </tr> <tr> <td>国内旅行者</td> <td>億円</td> <td>19,229</td> <td>744</td> <td>2,297</td> <td>2,422</td> </tr> <tr> <td> 国内旅行者（宿泊）</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>344</td> <td>1,063</td> <td>1,121</td> </tr> <tr> <td> 国内旅行者（日帰り）</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>400</td> <td>1,234</td> <td>1,301</td> </tr> <tr> <td>海外・国内合計</td> <td>億円</td> <td>29,288</td> <td>3,188</td> <td>9,839</td> <td>10,368</td> </tr> <tr> <td>対前年増加額 （第8期は対現状値増加額）</td> <td>億円</td> <td>-</td> <td>3,188</td> <td>6,651</td> <td>529</td> </tr> <tr> <td>対前年伸び率 （第8期は対現状値伸び率）</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>10.9</td> <td>208.6</td> <td>5.4</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	単位	開業1年目	開業2年目	開業3年目	第8期	第9期	第10期	訪日外国人旅行者	億円	1,101	3,419	3,623	国内旅行者（宿泊）	億円	278	862	910	国内旅行者（日帰り）	億円	645	1,996	2,104	対前年増加額	億円	-	4,253	361	対前年伸び率	%	-	210.0	5.8	内訳	単位	現状値	増加額・伸び率			※第8期～第10期は増加額の累計			開業1年目	開業2年目	開業3年目			2019年	第8期	第9期	第10期	訪日外国人旅行者	億円	10,059	2,444	7,542	7,946	国内旅行者	億円	19,229	744	2,297	2,422	国内旅行者（宿泊）	億円	-	344	1,063	1,121	国内旅行者（日帰り）	億円	-	400	1,234	1,301	海外・国内合計	億円	29,288	3,188	9,839	10,368	対前年増加額 （第8期は対現状値増加額）	億円	-	3,188	6,651	529	対前年伸び率 （第8期は対現状値伸び率）	%	-	10.9	208.6	5.4
内訳	単位	開業1年目			開業2年目	開業3年目																																																																																																																																																																																							
		第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																																																									
訪日外国人旅行者	億円	1,375	3,419	3,623																																																																																																																																																																																									
国内旅行者（宿泊）	億円	346	862	910																																																																																																																																																																																									
国内旅行者（日帰り）	億円	806	1,996	2,104																																																																																																																																																																																									
対前年増加額	億円	-	3,750	361																																																																																																																																																																																									
対前年伸び率	%	-	148.4	5.8																																																																																																																																																																																									
内訳	単位	現状値	増加額・伸び率																																																																																																																																																																																										
			※第8期～第10期は増加額の累計																																																																																																																																																																																										
			開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																																																																																																								
		2019年	第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																																																								
訪日外国人旅行者	億円	10,059	3,050	7,542	7,946																																																																																																																																																																																								
国内旅行者	億円	19,229	929	2,297	2,422																																																																																																																																																																																								
国内旅行者（宿泊）	億円	-	430	1,063	1,121																																																																																																																																																																																								
国内旅行者（日帰り）	億円	-	499	1,234	1,301																																																																																																																																																																																								
海外・国内合計	億円	29,288	3,978	9,839	10,368																																																																																																																																																																																								
対前年増加額 （第8期は対現状値増加額）	億円	-	3,978	5,861	529																																																																																																																																																																																								
対前年伸び率 （第8期は対現状値伸び率）	%	-	13.6	147.3	5.4																																																																																																																																																																																								
内訳	単位	開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																																																																																																									
		第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																																																									
訪日外国人旅行者	億円	1,101	3,419	3,623																																																																																																																																																																																									
国内旅行者（宿泊）	億円	278	862	910																																																																																																																																																																																									
国内旅行者（日帰り）	億円	645	1,996	2,104																																																																																																																																																																																									
対前年増加額	億円	-	4,253	361																																																																																																																																																																																									
対前年伸び率	%	-	210.0	5.8																																																																																																																																																																																									
内訳	単位	現状値	増加額・伸び率																																																																																																																																																																																										
			※第8期～第10期は増加額の累計																																																																																																																																																																																										
			開業1年目	開業2年目	開業3年目																																																																																																																																																																																								
		2019年	第8期	第9期	第10期																																																																																																																																																																																								
訪日外国人旅行者	億円	10,059	2,444	7,542	7,946																																																																																																																																																																																								
国内旅行者	億円	19,229	744	2,297	2,422																																																																																																																																																																																								
国内旅行者（宿泊）	億円	-	344	1,063	1,121																																																																																																																																																																																								
国内旅行者（日帰り）	億円	-	400	1,234	1,301																																																																																																																																																																																								
海外・国内合計	億円	29,288	3,188	9,839	10,368																																																																																																																																																																																								
対前年増加額 （第8期は対現状値増加額）	億円	-	3,188	6,651	529																																																																																																																																																																																								
対前年伸び率 （第8期は対現状値伸び率）	%	-	10.9	208.6	5.4																																																																																																																																																																																								

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）					区域整備計画（2023年9月8日）				
		指標	単位	金額 開業1年目 第8期	金額 開業2年目 第9期	金額 開業3年目 第10期	指標	単位	金額 開業1年目 第8期	金額 開業2年目 第9期	金額 開業3年目 第10期
19	要求基準18	2. IR運営による経済波及効果（対近畿圏（2府5県））					2. IR運営による経済波及効果（対近畿圏（2府5県））				
		生産誘発額	億円	4,333	10,790	11,443	生産誘発額	億円	3,473	10,790	11,443
		対前年増加額	億円	-	6,457	652	対前年増加額	億円	-	7,317	652
		伸び率	%	-	149.0	6.0	伸び率	%	-	210.7	6.0
		直接効果	億円	2,665	6,636	7,037	直接効果	億円	2,135	6,636	7,037
		対前年増加額	億円	-	3,971	401	対前年増加額	億円	-	4,501	401
		伸び率	%	-	149.0	6.0	伸び率	%	-	210.7	6.0
		間接効果	億円	1,668	4,154	4,405	間接効果	億円	1,338	4,154	4,405
		対前年増加額	億円	-	2,486	251	対前年増加額	億円	-	2,816	251
		伸び率	%	-	149.0	6.0	伸び率	%	-	210.7	6.0
		間接1次波及効果	億円	1,028	2,561	2,716	間接1次波及効果	億円	825	2,561	2,716
		対前年増加額	億円	-	1,533	155	対前年増加額	億円	-	1,736	155
		伸び率	%	-	149.0	6.0	伸び率	%	-	210.7	6.0
		間接2次波及効果	億円	640	1,594	1,690	間接2次波及効果	億円	513	1,594	1,690
		対前年増加額	億円	-	954	96	対前年増加額	億円	-	1,081	96
		伸び率	%	-	149.0	6.0	伸び率	%	-	210.7	6.0
		雇用効果	人	35,125	87,383	92,515	雇用効果	人	28,147	87,383	92,515
		対前年増加数	人	-	52,258	5,132	対前年増加数	人	-	59,236	5,132
		伸び率	%	-	148.8	5.9	伸び率	%	-	210.5	5.9
		誘発税収額	億円	492	1,233	1,313	誘発税収額	億円	394	1,233	1,313
対前年増加額	億円	-	740	80	対前年増加額	億円	-	839	80		
伸び率	%	-	150.3	6.5	伸び率	%	-	212.9	6.5		
20	要求基準18	④ その他の区域整備計画の実施により見込まれる経済的社会的効果					④ その他の区域整備計画の実施により見込まれる経済的社会的効果				
		1. 地元調達額の見込み額 ・IR事業においては、地元（近畿圏（2府5県））からの調達を通じて、IR区域後背圏に経済的効果がもたらされることが期待される。調達額の想定は、以下の2フェーズに分け調達額を推計した。 ▶建設フェーズ（IR施設完成までの期間）では累計8,774億円 ▶運営フェーズ（開業3年目期）では年間2,620億円					1. 地元調達額の見込み額 ・IR事業においては、地元（近畿圏（2府5県））からの調達を通じて、IR区域後背圏に経済的効果がもたらされることが期待される。調達額の想定は、以下の2フェーズに分け調達額を推計した。 ▶建設フェーズ（IR施設完成までの期間）では累計10,650億円 ▶運営フェーズ（開業3年目期）では年間2,620億円				

NO.	様式	区域整備計画（2022年4月25日）	区域整備計画（2023年9月8日）																																
21	要求基準18	<p>【3】評価基準19 2030年の政府の観光戦略の目標達成への貢献</p> <p>① I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数</p> <p>1. 国外からのI R区域への来訪者数の見込み</p> <p>I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数は、下表のとおり開業3年目には約629万人の想定であり、政府の観光戦略における目標である、2030年の訪日外国人旅行者数6,000万人の約10%を占め、政府の観光戦略の目標達成への貢献が見込まれる。</p> <p style="text-align: center;">【図表6：来訪者数推移の想定】</p> <table border="1" data-bbox="626 562 1659 758"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数</td> <td>約241万人</td> <td>約597万人</td> <td>約629万人</td> </tr> <tr> <td>増加人数</td> <td>—</td> <td>約355万人</td> <td>約32万人</td> </tr> <tr> <td>前年度からの伸び率</td> <td>—</td> <td>147.3%程度</td> <td>5.4%程度</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	開業1年目	開業2年目	開業3年目	I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数	約241万人	約597万人	約629万人	増加人数	—	約355万人	約32万人	前年度からの伸び率	—	147.3%程度	5.4%程度	<p>【3】評価基準19 2030年の政府の観光戦略の目標達成への貢献</p> <p>① I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数</p> <p>1. 国外からのI R区域への来訪者数の見込み</p> <p>I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数は、下表のとおり開業3年目には約629万人の想定であり、政府の観光戦略における目標である、2030年の訪日外国人旅行者数6,000万人の約10%を占め、政府の観光戦略の目標達成への貢献が見込まれる。</p> <p style="text-align: center;">【図表6：来訪者数推移の想定】</p> <table border="1" data-bbox="1676 562 2709 758"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>開業1年目</th> <th>開業2年目</th> <th>開業3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数</td> <td>約193万人</td> <td>約597万人</td> <td>約629万人</td> </tr> <tr> <td>増加人数</td> <td>—</td> <td>約403万人</td> <td>約32万人</td> </tr> <tr> <td>前年度からの伸び率</td> <td>—</td> <td>208.6%程度</td> <td>5.4%程度</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	開業1年目	開業2年目	開業3年目	I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数	約193万人	約597万人	約629万人	増加人数	—	約403万人	約32万人	前年度からの伸び率	—	208.6%程度	5.4%程度
内訳	開業1年目	開業2年目	開業3年目																																
I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数	約241万人	約597万人	約629万人																																
増加人数	—	約355万人	約32万人																																
前年度からの伸び率	—	147.3%程度	5.4%程度																																
内訳	開業1年目	開業2年目	開業3年目																																
I R区域を来訪する訪日外国人旅行者数	約193万人	約597万人	約629万人																																
増加人数	—	約403万人	約32万人																																
前年度からの伸び率	—	208.6%程度	5.4%程度																																